ユーザーマニュアル

バージョン 1.0.0、2024　年 08　月

鑫龙物联

声明

製品を安全かつ効果的にお使いいただくために、このマニュアルに記載されている製品をご使用になる前に、このマニュアルの内容をよくお読みください。今後参照できるよう、このマニュアルを適切に保管してください。

このマニュアルの写真は参考用です。実際の製品を参照してください。当社は、予告なく本製品をアップグレード、更新、改良する権利を有します。

このマニュアルに含まれるすべての情報は著作権によって保護されています。書面による許可がない限り、いかなる組織または個人も、いかなる方法または理由であっても、本書の抜粋、コピー、または他の製品とのバンドル、または本書の全部または一部を販売することはできません。

鑫龙物联

バージョンレコード

バージョン	日付	コンテンツの変更
V1.0.0	2024.08	初稿

鑫龙物联

目次

声明.....I

バージョン記録.....II

目次.....III

パート 1 シリアル ポート コマンドの設定手順..... 1

1 章 シリアル ポート コマンド..... 2

1.1 リードフラグ動作..... 2

1.2 書き込みフラグ動作..... 4

1.3 フラグを内部フラッシュ コマンドに保存.....6

1.4 フラグを工場出荷時の設定に戻す..... 7

2 章 フラグ..... 8

パート 2 セットアップ コード構成手順.....39

1 章 動作設定..... 40

1.1 使用設定コード..... 40

1.2 は工場出荷時のデフォルトに復元します..... 41

1.3 ユーザーデフォルト設定..... 41

2 章 通信インターフェース..... 42

2.1 通信モード選択..... 42

2.1.1 通信ポート出力モード.....42

2.2 シリアル通信インターフェイス..... 43

2.2.1 ボーレート..... 43

2.2.2 校正方法..... 44

2.3 USB-HID インターフェイス関連の構成.....45

2.3.1 HID デバイスの選択.....45

2.3.2 HID デバイスへの PC アクセス サイクル.....46

2.3.3 HID リリースまでの時間間隔.....46

2.3.4 HID リリース後の時間間隔.....47

2.3.5 CapsLock ステータス設定.....47

2.3.6 HID 先頭キー出力..... 48

3 章 読み取りモード..... 49

3.1 マニュアルモード..... 49

3.1.1 トリガー条件 49
3.1.2シングルコード読み取り時間 50
3.1.3 ディープスリープ 50
3.2 コマンド トリガー モード 51
3.2.1シングルコード読み取り時間 51
3.3 連続モード 52
3.3.1 読み取り間隔時間 52
3.3.2 同一コード読み取り遅延 53
3.3.3 シングルコード読み取り時間 54
3.3.4 連続モードキー一時停止スイッチ 54
3.4 センシングモード 54
3.4.1 シングルコード読み取り時間 55
3.4.2 読み取り間隔時間 55
3.4.3 同一コード読み取り遅延 55
3.4.4 感度 55
3.4.5 手振れ補正時間 56
4 章 補助光と位置決め 57
4.1 補助光 57
4.2 位置決め 58
5 章 プロンプト出力 59
5.1 ブザーマスタースイッチ 59
5.2 ブザー設定 59
5.2.1 パッシブブザー 59
5.2.2 アクティブブザー 60
5.3 設定コードプロンプト音 60
5.4 電源投入時のビープ音 60
5.5 読み取り成功プロンプト LED/プロンプト音 61
5.6 データ出力エンコード形式 62
5.7 各国のキーボード設定 63
5.8 仮想キーボードの有効化 64
5.9 出力中国語マスク 67
5.10 アナログ キーパッド 67
5.10.1 小型キーボードデジタル機能出力 67

5.10.2 キーパッドオペレータ機能出力.....68
5.11画像ミラーリング モード..... 68
5.12 逆相読み取りモード..... 68
5.13 請求書発行モード..... 69
5.14 デバイスのバージョン情報の読み取り..... 69
5.15 書き込み/読み取りデバイス..... 70
5.16 はチップ SN を読み取ります..... 71
6 章 データ編集..... 72
6.1 プレフィックス..... 72
6.2 サフィックス (サフィックス)..... 73
6.3 コード ID..... 73
6.3.1コードIDの追加..... 73
6.3.2コード ID の変更.....74
6.4 AIM ID..... 77
6.4.1AIM ID の追加..... 77
6.4.2AIM 位置の変更.....77
6.5 ターミネータ (テール)..... 78
6.6 データセグメント..... 79
6.6.1 日付セグメント インターセプト.....79
6.6.2 データセグメント長の変更..... 79
6.7 RF 情報..... 80
6.8 出力プロトコル..... 81
6.9 GS 文字置換..... 81
6.10 Web サイト コードの読み取り..... 82
6.11 任意の文字置換..... 82
7 章 クイック操作..... 84
7.1 高速 POS モード..... 84
7.2 シリアル ポートおよびフル コード有効モード..... 84
8 コード システム設定の章..... 85
8.1 グローバル ショートカット操作..... 85
8.1.1グローバル オペレーション.....85
8.1.2 商品バーコードチェックデジット出力有効化.....85
8.1.3 読解力強化.....86

8.2 一次元バーコード操作 86
8.2.1 EAN 13 86
8.2.2 EAN 8 87
8.2.3 UPC-A 89
8.2.4 UPC-E0 90
8.2.5 UPC-E1 92
8.2.6 Code128 93
8.2.7 Code39 94
8.2.8 Code93 97
8.2.9 コーダバー 98
8.2.10 Interleaved 2 of 5 100
8.2.11 産業用 25 101
8.2.12 マトリックス 2 の 5 103
8.2.13 Code11 104
8.2.14 MSI プレッシー 105
8.2.15 RSS-14 107
8.2.16 限定式 RSS 108
8.2.17拡張 RSS 108
8.2.18 標準 2 の 5 110
8.2.19 プレシー 111
8.2.20 中国郵便 25 113
8.3 2D バーコード操作 114
8.3.1 QR コード 114
8.3.2 データマトリックス（DM） 115
8.3.3 PDF417 116
8.3.4 マイクロ QR 116
8.3.5 ハンザ同盟 117
8.3.6 マイクロ PDF 417 117
8.3.7 コード 16K 117
8.3.8 マキシコード 118
8.3.9 Aztec 118
8.3.10 GS1 コンポジット 119
9 章 保存とキャンセル 120
9.1保存 120
9.2キャンセル 120
10 章 バッチ処理設定 121

付録.....122
付録 A: データ コード.....122
0 ～ 9.....122
A ～ F.....123
付録 B: パラメータ設定例.....124
付録 C: デフォルト設定表.....128
付録 D: 一般的なシリアル ポートの手順.....137
付録 E: コード ID リスト.....138
付録 F: ASCII コンピュータ.....140
付録 G: 一括設定コードパラメーター覧.....146
付録 H: AIM ID リスト.....165

鑫龙物联

パート 1　シリアルポートコマンドの設定手順

鑫龙物联

1 章 シリアル ポート コマンド

ユーザーはホスト経由でシリアル ポート コマンドを送信して、読み取りモジュールを構成できます。読み取りモジュールとホスト機器間の通信パラメータ設定が完全に一致している場合にのみ正常な通信が可能です。

読み取りモジュールのデフォルトのシリアル通信パラメータは次のとおりです。

パラメータ	デフォルトのパラメータ値
ボーレート	9600bps
パリティ	なし（パリティなし）
データビット	8 ビット
ストップビット	1 ビット
ハードウェアフロー制御	フロー制御なし

1.1 フラグビットの読み出し動作

デバイスフラグビットの読み取り操作では、最大 256 バイトのフラグビットを一度に読み取ることができます。

コマンド形式:

入力：{Head1} {Types} {Lens} {Address} {Datas} {CRC}

各フィールドの説明：

Head1：0x7E 0x00（2バイト）

Types：0x07（1バイト）

Lens：0x01（1バイト）

Address： 0x0000~0xFFFF (2 バイト)、読み取られるフラグ ビットの開始アドレスを示します。（読み取られた内容の実際の意味については、第 1 部の 2 章を参照してください)。

Datas： 0x00~0xFF (1 バイト)、連続して読み取られるフラグ ビットのバイト数を表し、0x00 は 256 バイトを表します。

CRC: CRC_CCITT チェック値 (2 バイト)。

CRC_CCITTの計算対象：Types、Lens、Address、Datas。生成多項式：X16+X12+X5+1（係数0x1021）。初期値は全ビット0。各バイトは最上位ビットから計算し、反転せず出力します。Cの参考コードを以下に示します。

```
uint16_t crc_16(uint8_t *data, uint16_t len)
{
    uint16_t crc16 = 0x0000;

    while( len-- ) {
        for(uint8_t i=0x80; i!=0; i>>=1) {
            if((crc16 & 0x8000) != 0) {
                crc16 = crc16 << 1;
                crc16 = crc16 ^ 0x1021;
            }
            else {
                crc16 = crc16 << 1;
            }
            if((*data & i) != 0) {
                crc16 = crc16 ^ 0x1021;    //crc16 = crc16 ^ (0x10000 ^ 0x11021)
            }
        }
        data++;
    }

    return crc16;
}
```

注: ユーザーが CRC チェック機能を必要としない場合は、CRC チェックなしを選択できます。つまり、CRC バイトに 0xAB 0xCD を入力すると、チェックの必要がなくなります。

応答：{Head2} {Types} {Lens} {Datas} {CRC}

1) 正常に読み取られ、読み取られたデータが返されます。

各フィールドの説明：

Head2 ： 0x02 0x00

Types： 0x00 (正常に読み取られました)

Lens： アップロードされたデータのバイト数を表し、0x00 は 256 を表します。

Datas： 0x00~0xFF、読み取ったデータを示します

CRC: CRC_CCITT チェック値。

CRC_CCITTの計算対象：Types、Lens、Datas。生成多項式：X16+X12+X5+1（係数0x1021）。初期値は全ビット0。各バイトは最上位ビットから計算し、反転せず出力します。参考コードは上記と同じです。

2) CRC チェックに失敗しました

コマンドに対する応答がありません

3) 不明なコマンド応答

コマンドに対する応答がありません

例：

フラグ ビットのアドレス 0x00FF を使用して、1 アドレスを読み取ります。

1) は正常に読み取られ、データが返されます。返されるデータは 0x3E です。

入力: 0x7E 0x00 0x07 0x01 0x00 0xFF 0x01 0x02 0xBE

応答: 0x02 0x00 0x00 0x01 0x3E 0xE4 0xAC

2 によって発行された CRC) が正しくありません。

入力: 0x7E 0x00 0x08 0x01 0x00 0xFF 0x3E 0x11 0x22

応答: なし

3) 送信された命令の 2 バイト間の待ち時間が 400ms を超えると、入力は未知のコマンドとして扱われます: 0x7E 0x00 0x07 0x01 0x00 0xFF 0x01返品: なし

1.2 ライトフラグ動作

デバイスフラグビットの書き込み操作では、最大 256 バイトのフラグビットを一度に書き込むことができます。

書き込みフラグ操作によって変更された内容は、電源をオフにすると失われます。電源をオフにした後もフラグ ビットを保持する必要がある場合は、内部フラッシュにフラグ ビットを保存する必要があります。

コマンド形式:

入力：{Head1} {Types} {Lens} {Address} {Datas} {CRC}

各フィールドの説明：

Head1：0x7E 0x00（2バイト）

Types：0x08（1バイト）

Lens： 0x00~0xFF (1 バイト)。コマンドのデータ フィールドのバイト数を表し、連続書き込み操作の数も表します。0x00 は 256 バイトを表します。アドレス: 0x0000~0xFFFF (2 バイト)、書き込まれるフラグ ビットの開始アドレスを示します。データ: 0x00~0xFF (1~256 バイト)、フラグ ビットに書き込まれるデータを示します。複数のフラグ ビットを設定する場合は、データ フィールドに下位アドレスから上位アドレスの順に入力する必要があります。

CRC: CRC_CCITT チェック値 (2 バイト)。

CRC_CCITTの計算対象：Types、Lens、Address、Datas。生成多項式：X16+X12+X5+1（係数0x1021）。初期値は全ビット0。各バイトは最上位ビットから計算し、反転せず出力します。Cの参考コードを以下に示します。

```
uint16_t crc_16(uint8_t *data, uint16_t len)
{
    uint16_t crc16 = 0x0000;

    while( len-- ) {
        for(uint8_t i=0x80; i!=0; i>>=1) {
            if((crc16 & 0x8000) != 0) {
                crc16 = crc16 << 1;
                crc16 = crc16 ^ 0x1021;
            }
            else {
                crc16 = crc16 << 1;
            }
            if((*data & i) != 0) {
                crc16 = crc16 ^ 0x1021;    //crc16 = crc16 ^ (0x10000 ^ 0x11021)
            }
        }
        data++;
    }

    return crc16;
}
```

注: ユーザーが CRC チェック機能を必要としない場合、チェックを回避するために CRC バイトに 0xAB 0xCD を入力できます。

応答：{Head2} {Types} {Lens} {Datas} {CRC}

1) 正常に書き込まれました

各フィールドの説明：

Head2 ： 0x02 0x00

Types： 0x00 (正常に書き込まれた)

Lens ： 0x01

Datas ： 0x00

CRC: CRC_CCITT チェック値 (0x33 0x31)

2) CRC チェックに失敗しました

コマンドに対する応答がありません

3) 不明なコマンド応答

コマンドに対する応答がありません

例：

アドレス 0x00FF のフラグ ビットに 0x3E を書き込みます。

1) 正常に設定されました

入力: 0x7E 0x00 0x08 0x01 0x00 0xFF 0x3E 0xA0 0xFB

応答: 0x02 0x00 0x00 0x01 0x00 0x33 0x31

2 によって発行された CRC) が正しくありません。

入力: 0x7E 0x00 0x08 0x01 0x00 0xFF 0x3E 0x11 0x22

応答: なし

3）送信コマンド長が不足する場合、または0x7E 0x00送信後に400msを超えて待機した場合は未知のコマンドとして処理します。入力：0x7E 0x00 0x08 0x01 0x00 0xFF 0x3E 。応答：なし。

1.3 フラグビットは内部フラッシュ命令に保存されます

デバイスフラグリストを内蔵フラッシュに保存するには、保存コマンドを送信する必要があります。

注: デバイスは単一のフラグ ビット構成を個別に保存できません。リスト全体を同時に維持する必要があります。

コマンド形式:

入力：{Head1} {Types} {Lens} {Address} {Datas} {CRC}

各フィールドの説明：

Head1 ： 0x7E 0x00

Types ： 0x09

Lens ： 0x01

Address ： 0x0000

Datas ： 0x00

CRC: CRC_CCITT チェック値 (0xDE 0xC8)

応答：{Head2} {Types} {Lens} {Datas} {CRC}

1) 正常に保存されました

各フィールドの説明：

Head2 ： 0x02 0x00

Types： 0x00 (正常に書き込まれた)

Lens ： 0x01

Datas ： 0x00

CRC: CRC_CCITT チェック値 (0x33 0x31)

2) CRC チェックに失敗しました

コマンドに対する応答がありません

3) 不明なコマンド応答

コマンドに対する応答がありません

1.4 フラグを工場出荷時の設定に戻す

デバイス フラグの内容を工場出荷時の設定に復元してフラッシュに保存する場合は、工場出荷時の復元コマンドを送信する必要があります。

コマンド形式:

入力：{Head1} {Types} {Lens} {Address} {Datas} {CRC}

各フィールドの説明：

Head1 ： 0x7E 0x00

Types ： 0x09

Lens ： 0x01

Address ： 0x0000

Datas ： 0xFF

CRC: CRC_CCITT チェック値

応答：{Head2} {Types} {Lens} {Datas} {CRC}

1) 正常に設定されました

各フィールドの説明：

Head2 ： 0x02 0x00

Types： 0x00 (正常に書き込まれた)

Lens ： 0x01

Datas ： 0x00

CRC: CRC_CCITT チェック値 (0x33 0x31)

2) CRC チェックに失敗しました

コマンドに対する応答がありません

3) 不明なコマンド応答

コマンドに対する応答がありません

2 フラグの章

この章では、シリアル ポート設定に関連するフラグ ビット情報を指定します。詳細については、以下の表を参照してください。

フラグビット	0x0000
データビット	関数
Bit7	0: デコード成功 LED プロンプトをオフにする 1: デコード成功 LED プロンプトを有効にする
Bit6	0: ミュートを開始します 1: ミュートをオフにする
Bit5-4	00: ポジショニング ライト - 常にオフ 01: ポジショニング ライト - 写真撮影時に点灯します。 10: ポジショニング ライト - 常時点灯 11: ポジショニング ライト - 写真撮影時は常に点灯
Bit3-2	00: フィルライト - 常にオフ 01: フィルライト - 写真撮影時に点灯します。 10/11: フィルライト - 常時点灯
Bit1-0	00: マニュアルモード 01: コマンドトリガーモード 10: 連続モード 11: センシングモード
フラグビット	0x0001
データビット	関数
Bit7	コマンドトリガーアンサースイッチ 0: 答え 1: 応答なし
Bit6	予約する
Bit5	マニュアルモードのトリガー方法 0: レベルトリガー 1: エッジトリガー

Bit4	連続モードキー一時停止スイッチ 0: 連続モード キー一時停止のサポート 1: 連続モード キーの一時停止はサポートされていません
Bit3-2	パッシブブザー周波数設定 00: 低周波 01: IF 10: 高周波
Bit1-0	ブザー設定 00: パッシブブザー 01: アクティブブザー
フラグビット	0x0002
データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	コマンドモードトリガーフラグ、スキャン後に自動的にクリアされます 1: トリガー 0: トリガーされませんでした
フラグビット	0x0003
データビット	関数
Bit7-2	HID クエリ サイクル。 周期 = (Reg0x0003[7:2]+1)ms
Bit1	0: 設定コードを有効にする 1: 設定コードを閉じる
Bit0	0：設定コードの内容を出力しません 1：設定コード内容を出力
フラグビット	0x0004
データビット	関数
Bit7-0	安定方向持続時間0x00-0xFF：0ms-25500ms
フラグビット	0x0005

データビット	関数
Bit7-0	読み取り間隔時間0x00-0xFF：0ms-25500ms
フラグビット	0x0006
データビット	関数
Bit7-0	単一コードの読み取り時間0x00-0xFF：100ms-25500ms（0x00無限の長さを示します）
フラグビット	0x0007
データビット	関数
Bit7	自動ディープスリープ機能 0: 有効になっていません 1: 有効にする
Bit6-0	アイドル時間 (上位ビット14-8) ユニット 100ms
フラグビット	0x0008
データビット	関数
Bit7-0	アイドル期間 (低ビット 7-0) ユニット 100ms
フラグビット	0x0009
データビット	関数
Bit7-2	リリース前の HID 間隔 間隔 = (Reg0x0009[7:2]) ミリ秒
Bit1-0	画像反転 00: 画像ミラーリング反転を無効にする 01: 画像のミラー反転を許可します 10/11: 予約済み
フラグビット	0x000A
データビット	関数
Bit7	出力データマスク中国語スイッチ 0: シールドなし 1: シールド

Bit6-5	仮想キーボードモードの切り替え 00: 制御文字出力がオフになります 01: 制御文字 Ctrl モード 10: 制御文字 Alt モード
Bit4	テンキースイッチ 0：オフ 1: オン
Bit3	テンキーオペレータースイッチ 0：オフ 1: オン
Bit2-1	予約する
Bit0	HID キーボード先頭スイッチ (shift+ctrl+r) 0: HID キーボードの先頭が無効になっています 1: HID キーボードの先頭を許可します
フラグビット	0x000B
データビット	関数
Bit7-0	読み取り成功のプロンプト音の長さ 0x00-0xFF：0-255ms
フラグビット	0x000C
データビット	関数
Bit7-3	リリース後のHID間隔 間隔 = (Reg0x0009[7:3]) ミリ秒
Bit2-1	00: 通常モード 01: リバースモード 10: すべて大文字 11: すべて小文字
Bit0	アクティブブザーモードのデフォルトレベル 0: ブザーアイドルアイドル高レベル、ビジー低レベル 1: ブザーアイドルアイドル低レベル、ビジー高レベル
フラグビット	0x000D

データビット	関数
Bit7	請求書発行モード 0: 無効 1: 有効にする
Bit6	仮想キーボード有効化フラグ 0: 無効 1: 有効にする
Bit5-4	予約する
Bit3-2	出力データのエンコード形式 00：GBK 01：UNICODE 10: 元のデータ 11：UTF8
Bit1-0	出力ポートモード 00: シリアルポート出力 01：USB -HID 10: シリアルポートと HID 同時出力 11: USB 仮想シリアル ポート
フラグビット	0x000E
データビット	関数
Bit7-4	予約する
Bit3	コードプロンプトトーンスイッチを設定する 0: オン 1：オフ
Bit2	デコード成功音スイッチ 0: プロンプトのサウンドオフのデコードが成功しました 1: プロンプトのサウンドオンのデコードが成功しました

Bit1	電源投入時のビープ音スイッチ 0: 電源投入時のビープ音 1: 電源投入時のビープ音オフ
Bit0	シリアルポートアナログHIDプロトコルスイッチ 0: HID プロトコルをシミュレートするためにシリアル ポートを無効にします 1: シリアル ポート シミュレーション HID プロトコルを有効にする
フラグビット	0x000F
データビット	関数
Bit7-0	感度調整パラメータ 1 0x00-0xFF: 値が大きいほど、感度は低くなります。
フラグビット	0x0010
データビット	関数
Bit7-0	感度調整パラメータ 2 0x00-0xFF: 値が大きいほど、感度は低くなります。
フラグビット	0x0013
データビット	関数
Bit7	同じバーコード読み取り遅延設定 0: 同じコード読み取り遅延をオフにする 1: 同じコード読み取り遅延をオンにします
Bit6-0	同一コード読み取り遅延時間（単位：100ms） 0x01-0x7F: 0.1-12700ms; (0x00は無限長を意味します)
フラグビット	0x0014
データビット	関数
Bit7-0	情報出力予約時間（単位：10ms） 0x00-0xFF：0-2550ms
フラグビット	0x0015

データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	USB-HID デバイスの選択 0：KBW 1：POS
フラグビット	0x0016
データビット	関数
Bit7-5	予約する
Bit4	逆相設定スイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit3-1	予約する
Bit0	リテラシー向上スイッチ 0：オフ 1: オン
フラグビット	0x0017
データビット	関数
Bit7-4	予約する
Bit3	QR プレフィックス (11) スイッチ 0：オフ 1: オン
Bit2	Code128 プレフィックス (11) スイッチ 0：オフ 1: オン
Bit1	Webサイトコード読み取りスイッチ 0: オン 1：オフ
Bit0	GS文字置換の有効・無効 0：オフ

	1: オン
フラグビット	0x0018
データビット	関数
Bit7-0	GS置き換えキャラクター 0x00-0xFF: GS 置換文字値
フラグビット	0x001D
データビット	関数
Bit7	LED出力レベルの読み取り成功 0: 高レベル 1: 低レベル
Bit6-0	読み取り成功時の LED プロンプトの持続時間 (単位: 10ms) 0x00-0x7F：0-1270ms
フラグビット	0x002B，0x002A
データビット	関数
Bit15	予約する
Bit14-13	パリティモード 00: チェックなし 01: 奇数パリティ 10: 偶数パリティ
Bit12-0	シリアルポートのボーレートパラメータ 0x09C4: シリアル ポートのボー レートは 1200 bps です 0x0271: シリアルポートのボーレートは 4800 bps です 0x0139: シリアルポートのボーレートは 9600 bps です 0x00D0: シリアル ポートのボー レートは 14400 bps です 0x009C: シリアルポートのボーレートは 19200 bps です 0x004E: シリアルポートのボーレートは 38400 bps です 0x0034: シリアルポートのボーレートは 57600 bps です 0x001A: シリアルポートのボーレートは 115200bps です 例: 9600 ボーレート: 0x002A = 0x39、0x002B = 0x01

フラグビット	0x002C
データビット	関数
Bit7-3	予約する
Bit2-1	バーコードマスタースイッチ 00: すべてのバーコードの読み取りを無効にします 01: すべてのバーコードの読み取りを許可します 10/11: デフォルトの読み取り可能なバーコードを開きます
Bit0	予約する
フラグビット	0x002E
データビット	関数
Bit7	EAN13コード 5桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit6	EAN13コード 2桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit5	EAN13 コード強制追加コード切り替え 0: 必須ではありません 1: 必須
Bit4-2	予約する
Bit1	EAN13コードチェックデジット出力スイッチ 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	EAN13 コード読み取りスイッチ 0: EAN13 コードの読み取りは禁止されています 1: EAN13 コードの読み取りを許可します。
フラグビット	0x002F
データビット	関数
Bit7	EAN8コード 5桁アドオンコードスイッチ

	0: 禁止 1: 許可されています
Bit6	EAN8コード 2桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit5	EAN8 コード強制追加コード切り替え 0: 必須ではありません 1: 必須
Bit4-2	予約する
Bit1	EAN8コードチェックデジット出力スイッチ 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	EAN8 コード読み取りスイッチ 0: EAN8 コードの読み取りは禁止されています 1: EAN8 コードの読み取りを許可します。
フラグビット	0x0030
データビット	関数
Bit7	UPC-Aコード 5桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit6	UPC-Aコード 2桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit5	UPC-A コード強制追加コード切り替え 0: 必須ではありません 1: 必須
Bit4	UPC-A から EAN13 へのスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit3-2	予約する
Bit1	UPC-Aコードチェックデジット出力スイッチ

	0: 出力なし 1: 出力
Bit0	UPC-A コード読み取りスイッチ 0: UPC-A コードの読み取りを無効にする 1: UPC-A コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0031
データビット	関数
Bit7	UPC-E0コード 5桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit6	UPC-E0コード 2桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit5	UPC-E0 コード強制追加コード切り替え 0: 必須ではありません 1: 必須
Bit4-2	予約する
Bit1	UPC-E0コードチェックデジット出力スイッチ 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	UPC-E0 コード読み取りスイッチ 0: UPC-E0 コードの読み取りを無効にします 1: UPC-E0 コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0032
データビット	関数
Bit7	UPC-E1コード 5桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています
Bit6	UPC-E1コード 2桁アドオンコードスイッチ 0: 禁止 1: 許可されています

Bit5	UPC-E1 コード強制追加コード切り替え 0: 必須ではありません 1: 必須
Bit4-2	予約する
Bit1	UPC-E1コードチェックデジット出力スイッチ 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	UPC-E1 コード読み取りスイッチ 0: UPC-E1 コードの読み取りを無効にします 1: UPC-E1 コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0033
データビット	関数
Bit7	予約する
Bit6	AIブラケット 0: ブラケット付き 1: ブラケットなし
Bit5-1	予約する
Bit0	Code128 コード読み取りスイッチ 0: Code128 コードの読み取りを無効にします 1: Code128 コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0034
データビット	関数
Bit7-0	Code128 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0035
データビット	関数
Bit7-0	Code128 最大メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0036

データビット	関数
Bit7	Code39 開始文字と終了文字 0: 出力なし 1: 出力
Bit6	Code39 開始文字 0: 出力なし 1: 出力
Bit5	Code32 プレフィックス 0: 出力なし 1: 出力
Bit4	Code32モード 0：オフ 1: オン
Bit3	フル ASCII モード 0: 閉じる 1: オン
Bit2	Code39チェック処理 0: 未処理 1: 処理中
Bit1	Code39 チェックデジット出力 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	Code39 コード読み取りスイッチ 0: Code39 コードの読み取りを無効にします 1: Code39 コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0037
データビット	関数
Bit7-0	Code39 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0038
データビット	関数

Bit7-0	Code39 最大メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0039
データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	Code93 コード読み取りスイッチ 0: Code93 コードの読み取りを無効にします 1: Code93 コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x003A
データビット	関数
Bit7-0	Code93 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x003B
データビット	関数
Bit7-0	Code93 最大メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x003C
データビット	関数
Bit7	CodaBarチェックデジット出力 0: 出力なし 1: 出力
Bit6-4	予約する
Bit3-2	CodaBar はチェックを処理します 00: チェックは処理されません 01: MOD 16 チェック 10: MOD 10 チェック 11: 再確認してください
Bit1	開始文字と終了文字を送信する CodaBar コード

	0: 開始文字と終了文字の送信を禁止します 1: 開始文字と終了文字の送信を許可します
Bit0	CodaBarコード読み取りスイッチ 0: CodaBar コードの読み取りは禁止されています 1: CodaBar コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x003D
データビット	関数
Bit7-0	CodaBar メッセージの最小長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x003E
データビット	関数
Bit7-0	CodaBar メッセージの最大長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x003F
データビット	関数
Bit7	予約する
Bit6	AIブラケット 0: ブラケット付き 1: ブラケットなし
Bit5	QRモード 1スイッチ 0：オフ 1: オン
Bit4-1	予約する
Bit0	QRコード読み取りスイッチ 0：QRコードの読み取りを禁止します 1: QR コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0040
データビット	関数

Bit7-3	予約する
Bit2	5のチェック処理をインターリーブした2 0：なし 1：MOD10
Bit1	2/5のインターリーブチェックデジット出力 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	5 コード読み取りスイッチのインターリーブ 2 0: 5 コードのインターリーブ 2 の読み取りを無効にします 1: 5 コードのインターリーブ 2 の読み取りを許可します。
フラグビット	0x0041
データビット	関数
Bit7-0	インターリーブ 2 または 5 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0042
データビット	関数
Bit7-0	インターリーブ 2 または 5 最大メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0043
データビット	関数
Bit7-3	予約する
Bit2	産業用25チェック処理 0：なし 1：MOD10
Bit1	工業用 25 チェックデジット出力 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	産業用 25 コード読み取りスイッチ 0: 産業用コード 25 の読み取りは禁止されています

	1: 工業用 25 コードの読み取りを許可します。
フラグビット	0x0044
データビット	関数
Bit7-0	工業用 25 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0045
データビット	関数
Bit7-0	産業用 25 最大メッセージ長設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0046
データビット	関数
Bit2	5の行列2チェック処理 0：なし 1：MOD10
Bit1	マトリックス 2 の 5 チェック デジット出力 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	5 コード読み取りスイッチのマトリクス 2 0: 5 コードのマトリックス 2 の読み取りは禁止されています 1: 5 コードのマトリックス 2 の読み取りを許可します。
フラグビット	0x0047
データビット	関数
Bit7-0	マトリックス 2 の 5 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0048
データビット	関数
Bit7-0	マトリックス 2 の 5 最大メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト

フラグビット	0x0049
データビット	関数
Bit7-3	予約する
Bit2	Code11　チェック処理 0: 1bit チェック (C または K) 1: 2bit チェック (C+K)
Bit1	Code11 チェックデジット出力 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	Code11 コード読み取りスイッチ 0: Code11 コードの読み取りを無効にします 1: Code11 コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x004A
データビット	関数
Bit7-0	Code11 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x004B
データビット	関数
Bit7-0	Code11 最大メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x004C
データビット	関数
Bit7-3	予約する
Bit2	MSI Plessey チェック処理 0: 単一の MOD10 チェック 1: MOD10 の二重チェック
Bit1	MSI Plessey チェック ディジット出力 0: 出力なし

	1: 出力
Bit0	MSI Plessey コード読み取りスイッチ 0: MSI Plessey コードの読み取りを無効にする 1: MSI Plessey コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x004D
データビット	関数
Bit7-0	MSI Plessey メッセージの最小長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x004E
データビット	関数
Bit7-0	MSI Plessey メッセージの最大長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x004F
データビット	関数
Bit7	AIブラケット 0: ブラケット付き 1: ブラケットなし
Bit6-1	予約する
Bit0	RSS-14 コード読み取りスイッチ 0: RSS-14 コードの読み取りを無効にします 1: RSS-14 コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0050
データビット	関数
Bit7	AIブラケット 0: ブラケット付き 1: ブラケットなし
Bit6-1	予約する
Bit0	適格な RSS コードを読み取る

	0：制限付きRSSコードの読み取りを禁止します 1: 制限された RSS コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0051
データビット	関数
Bit7	AIブラケット 0: ブラケット付き 1: ブラケットなし
Bit6-1	予約する
Bit0	拡張 RSS コードを読む 0: 拡張 RSS コードの読み取りを無効にする 1: 拡張 RSS コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0052
データビット	関数
Bit7-0	拡張 RSS メッセージの最小長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0053
データビット	関数
Bit7-0	拡張 RSS メッセージの最大長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x0054
データビット	関数
Bit7	予約する
Bit6	AIブラケット 0: ブラケット付き 1: ブラケットなし
Bit5-2	予約する
Bit1	DMマルチコード読み取りスイッチ 0：オフ

	1: オン
Bit0	DMコード読み取りスイッチ 0: DMコードの読み取りを禁止します 1: DM コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0055
データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	PDF417 読み取りスイッチ 0: PDF417 の読み取りは禁止されています 1: PDF417 の読み取りを許可します
フラグビット	0x0056
データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	ハンセコード読み取りスイッチ 0: ハンザコードの読み取りを無効にする 1: ハンザコードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0057
Bit7-1	予約する
Bit0	MicroPDF417 読み取りスイッチ 0: MicroPDF417 の読み取りを無効にします 1: MicroPDF417 の読み取りを許可します
フラグビット	0x0058
データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	マイクロQR読み取りスイッチ 0：マイクロQR読み取り禁止 1: マイクロ QR の読み取りを許可します
フラグビット	0x0059

データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	マキシコード読み取りスイッチ 0: マキシコードの読み取りは禁止されています 1: Maxi コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x005A
データビット	関数
Bit7	予約する
Bit6	AIブラケット 0: ブラケット付き 1: ブラケットなし
Bit5-1	予約する
Bit0	アステカコード読み取りスイッチ 0: アステカ コードの読み取りは禁止されています 1: アステカ コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x005B
データビット	関数
Bit7-3	予約する
Bit2	標準 2 の 5 チェック処理 0：なし 1: チェック
Bit1	標準 2 の 5 チェックデジット出力 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	標準 2 の 5 コード読み取りスイッチ 0: 5 コードの標準 2 の読み取りを無効にします 1: 5 コードの標準 2 の読み取りを許可します。
フラグビット	0x005C

データビット	関数
Bit7-0	標準 2 の 5 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x005D
データビット	関数
Bit7-0	標準 2 の 5 最大メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x005E
データビット	関数
Bit7	予約する
Bit6	AIブラケット 0: ブラケット付き 1: ブラケットなし
Bit5-1	予約する
Bit0	GS1 複合読み取りスイッチ 0: GS1 コンポジットコードの読み取りを無効にします 1: GS1 複合コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x0060
データビット	関数
Bit7	シリアル ポート/仮想シリアル ポート出力にはプロトコルがありますか? 0: 生データ 1: プロトコルあり
Bit6-5	ターミネータ接尾語の種類 00：CR(0x0D) 01：CRLF(0x0D,0x0A) 10：TAB(0x09) 11：なし
Bit4	RF情報スイッチ 0: RF 情報の追加を禁止します

	1: RF 情報の追加を許可します
Bit3	プレフィックススイッチ 0: プレフィックスの追加は禁止されています 1: プレフィックスの追加を許可します
Bit2	コードIDスイッチ 0: コードIDの追加は禁止されています 1: コード ID の追加を許可します
Bit1	サフィックススイッチ 1: サフィックスの追加を許可します 0：サフィックスの付加は禁止されています
Bit0	予約する
フラグビット	0x0061
データビット	関数
Bit7-0	さまざまな国のキーボード設定 00: 米国 01：チェコ共和国 02：フランス 03：ドイツ 04：ハンガリー 05：イタリア 07：スペイン 08: トルコ語 Q 09：トゥルキエ F 0A: メキシコ (ラテンアメリカ) 0B：ベトナム 0F: ロシア語 UTF8 10:ロシア語 WIN1251 11: ロシアの鯉8-r
フラグビット	0x0062
データビット	関数

Bit7-4	プレフィックス文字の長さ 0x00-0x0F: プレフィックス文字の長さ
Bit3-0	接尾辞の文字長 0x00-0x0F: 接尾辞の文字長
フラグビット	0x0063 – 0x0071
データビット	関数
Bit7-0	接頭文字 0x00-0xFF: プレフィックス文字の値、最大 15Byte
フラグビット	0x0072 - 0x0080
データビット	関数
Bit7-0	接尾文字 0x00-0xFF: 接尾辞文字の値、最大 15Byte
フラグビット	0x0081
データビット	関数
Bit7-4	予約する
Bit3-0	RFメッセージの長さ 0x00-0x0F: RF メッセージの長さ
フラグビット	0x0082– 0x0090
データビット	関数
Bit7-0	RF情報 0x00-0xFF: RF 情報文字、最大 15Byte
フラグビット	0x0091 – 0x00AE
データビット	関数
Bit7-0	コードID文字の設定 0x41-0x5a & 0x61-0x7a (A-Z、a-z): 各コード システムに対応するコード ID 文字 (詳細については付録 E を参照)
フラグビット	0x00B0

データビット	関数
Bit7-2	予約する
Bit1-0	データ文字インターセプト設定 00: すべてのデータ文字を送信します 01: 最初の M データ文字のみが送信されます 10: 最後の N データ文字のみが送信されます 11: 最初の M + 最後の N データ文字を送信しません
フラグビット	0x00B1
データビット	関数
Bit7-0	前方遮断長さ M 0x00-0xFF: 0-255 文字
フラグビット	0x00B2
データビット	関数
Bit7-0	次に、長さ N を切片します。 0x00-0xFF: 0-255 文字
フラグビット	0x00B4
データビット	関数
Bit3-1	プレフィックス順序の設定 000 (0): コード ID+AIM+カスタム (デフォルト) 001 (1): AIM+コードID+カスタム 010 (2): AIM+カスタム+コードID 011 (3): コード ID + カスタム + AIM 100 (4): カスタマイズ + コード ID + AIM 101 (5): カスタマイズ + AIM + コード ID
Bit0	AIMプレフィックス設定 0: 無効 (デコードされた情報に AIM プレフィックスが追加されない) デフォルト 1: 有効 (デコードされた情報に AIM プレフィックス文字を追加)
フラグビット	0x00BB

データビット	関数
Bit7-3	予約する
Bit2	プレッシーチェック処理 0：なし 1: チェック
Bit1	Plesseyチェックデジット出力 0: 出力なし 1: 出力
Bit0	プレッシーコード読み取りスイッチ 0: Plessey コードの読み取りを無効にする 1: Plessey コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x00BC
データビット	関数
Bit7-0	Plessey メッセージの最小長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x00BD
データビット	関数
Bit7-0	Plessey メッセージの最大長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x00BE
データビット	関数
Bit7-3	予約する
Bit2	ChinaPost 25 チェック処理 0：なし 1: チェック
Bit1	ChinaPost 25 チェックデジット出力 0: 出力なし 1: 出力

Bit0	ChinaPost 25 コード読み取りスイッチ 0: ChinaPost 25 コードの読み取りは禁止されています 1: ChinaPost 25 コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x00BF
データビット	関数
Bit7-0	ChinaPost 25 メッセージの最小長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x00C0
データビット	関数
Bit7-0	ChinaPost 25 メッセージの最大長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x00C1
データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	Code16K コード読み取りスイッチ 0: Code16K コードの読み取りを無効にします 1: Code16K コードの読み取りを許可します
フラグビット	0x00C2
データビット	関数
Bit7-0	Code16K 最小メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト
フラグビット	0x00C3
データビット	関数
Bit7-0	Code16K 最大メッセージ長の設定 0x00-0xFF：0-255バイト

フラグビット	0x00D9 (書き込み専用フラグビット)
データビット	関数
Bit7-0	機能フラグ 0x50: 工場出荷時の設定に戻す 0x55: ユーザー定義の工場出荷時設定の復元 0x56: 現在の設定はユーザー定義の工場出荷時設定として保存されます 0xA5: ディープスリープ、シリアルポート割り込みによってウェイクアップ可能、このシリアルポートコマンドは無効です (この機能は手動モードでのみ有効です) 0x00: デバイスのスリープは 0 を書き込むことでウェイクアップできます (この機能は手動モードでのみ有効です) 0x00E0 (読み取り専用フラグビット)
フラグビット	
データビット	関数
Bit7-0	製品型式 0x01：WSM-QL1601
フラグビット	0x00E1 (読み取り専用フラグ)
データビット	関数
Bit7-0	ハードウェアバージョン 0x64：V1.00 0x6E：V1.10 0x78：V1.20 0x82：V1.30 0x8C：V1.40 .....
フラグビット	0x00E2 (読み取り専用フラグ)
データビット	関数
Bit7-0	ソフトウェアバージョン番号 1 0x01：V1.x.x 0x02：V2.x.x .....
フラグビット	0x00E3 (読み取り専用フラグ)
データビット	関数

Bit7-0	ソフトウェアバージョン番号 2 0x01：Vx.1.x 0x02：Vx.2.x .....
フラグビット	0x00E4 (読み取り専用フラグ)
データビット	関数
Bit7-0	ソフトウェアバージョン番号 3 0x1：Vx.x.1 0x2：Vx.x.2 .....
フラグビット	0x00E5 (読み取り専用フラグ)
データビット	関数
Bit7-0	ソフトウェアの年 (年を示すには、この値に 2000 を追加します) 0x15：2021 0x16：2022 .....
フラグビット	0x00E6 (読み取り専用フラグ)
データビット	関数
Bit7-0	ソフトウェア月 (この値は月を表します) 0x09：9月 0x0A：10月 0x0B：11月 .....
フラグビット	0x00E7 (読み取り専用フラグ)
データビット	関数
Bit7-0	ソフトウェアの日付 (この値は日付を表します) 0x0A：10番号 0x0B：11番号 .....

フラグビット	0x0100
データビット	関数
Bit7-1	予約する
Bit0	文字置換スイッチ 0: 許可されています 1: 禁止
フラグビット	0x0101
データビット	関数
Bit7-0	置換される文字の長さ 0x00-0x0F
フラグビット	0x0102-0x0121
データビット	関数
Bit7-0	置き換えられた文字コンテンツ 0x00-0xFF: 置換された文字コンテンツの文字値 (最大 15Byte)
フラグビット	0x0122
データビット	関数
Bit7-0	置換文字長 0x00-0x0F
フラグビット	0x0123-0142
データビット	関数
Bit7-0	文字の内容を置き換える 0x00-0xFF: 置換文字コンテンツの文字値、最大 15Byte

パート 2 セットアップ コードの構成手順

1 章 動作設定

QR コード スキャン モジュールの工場出荷時のデフォルト設定は、ほとんどの場合、ユーザーの直接使用のニーズを満たすことができます。実際のニーズに応じて、設定コードを通じてパラメータを設定することもできます。

1.1 セットアップコードを使用する

「設定コード有効化」を読み出して、読み取りモジュール機能（設定コード機能）を設定します。機能がオンになった後、1 つまたは複数の設定コードを読み取ることによって、読み取りモジュールのパラメーターを変更できます。「設定終了コード」を読み取った後、読み取りモジュールは設定状態を終了します。



**設定コードを有効にする



設定コードをオフにする

コード内容の出力を有効または無効に設定します。



設定コード内容を出力する



**設定コードの内容を出力しません

注: 設定コード内で (**) が付いているオプションは、デフォルトの機能またはパラメータを表します。

1.2 工場出荷時のデフォルトに戻す

この設定コードを読み取ると、現在のパラメータ設定は失われ、工場出荷時のデフォルト値に戻ります。工場出荷時のデフォルトのパラメータと関数については、付録 C を参照してください。



工場出荷時のデフォルトに戻す

注:「工場出荷時のデフォルトに戻す」機能は注意して使用してください。

1.3 ユーザーのデフォルト設定

工場出荷時の設定を復元するだけでなく、ユーザーは頻繁に使用する設定をユーザーのデフォルト設定として保存できます。「現在の設定をユーザーのデフォルト設定として保存する」を読むと、現在のデバイス構成をユーザーのデフォルト情報として保存し、必要なときにすぐに設定できるようになります。

「ユーザーのデフォルト設定を復元する」を読むと、ユーザーが保存したデフォルトの設定を復元できます。



現在の設定をユーザーのデフォルトとして保存する



ユーザーのデフォルト設定に戻す

第 2 通信インターフェースの章

コードスキャンモジュールは、ホストと通信するためのTTL-232シリアル通信インターフェースとUSBインターフェース（オプション機能）を提供します。通信インターフェースを介して読み取りデータを受信できます。

2.1 通信モードの選択

工場出荷時のデフォルトでは、通信に USB-HID モードが使用されます。 QRコード設定をスキャンすることで、通信ポートの出力モード（TTL-232シリアルポートモード/仮想COMポート/USB-HIDモード）を切り替えることができます。 USB とシリアルポート出力を同時に必要とする場合、設定コードを読み取ることで HID & TTL 同時出力モードを選択できます。ユーザーが通信モードを切り替えるときは、デバイスの初期化が完了するまで待ってから、関連する操作を実行する必要があります。

注 1: モジュールが USB 仮想シリアル ポートに設定され、このポートを介してホストと通信する場合、ホストは対応するドライバーをインストールする必要があります。

注 2: USB は、デバイスを識別し、正しいデバイスを見つけるために 2 番号を使用します。 VID&PID情報は以下の通りです。

インターフェースの種類	VID(16ベース)	PID(16ベース)
仮想COMポート	0x152A	0x880F
HID-KBW	0x1FC9	0x5AA7
HID-POS	0x1FCA	0x5AA8

2.1.1通信ポート出力モード

1。通信出力モードを設定するには、以下の設定コードを読み出します。

TTL-232 シリアルポートモード

**USB-HIDモード



USB 仮想シリアル ポート モード



HID & TTL同時出力モード

2.2 シリアル通信インターフェース

シリアル通信インターフェースは、読み取りモジュールとホストデバイスを接続する一般的な方法です。シリアル通信インターフェイスを使用する場合、スムーズな通信と正しいコンテンツを確保するには、読み取りモジュールとホストデバイス間の通信パラメータ設定が完全に一致している必要があります。

読み取りモジュールが提供するシリアル通信インターフェースはTTLレベル信号です。 TTL-232 形式はほとんどのアプリケーション アーキテクチャに接続できますが、RS-232 形式を使用する必要がある場合は、外部変換回路を追加する必要があります。

読み取りモジュールのデフォルトのシリアル通信パラメータは以下のとおりです。ホスト機器と不一致の場合は、設定コードを読み込むことで変更できます。

TTL-232 デフォルトの通信パラメータ:

パラメータ	デフォルト
シリアル通信タイプ	標準 TTL-232
ボーレート	9600
パリティタイプ	なし
データビット	8
ストップビット	1

2.2.1 ボーレート

ボーレートの単位はビット/秒（bps：ビット/秒）です。次の設定コードを読み取って、構成パラメータを選択できます。



1200bps



4800bps



**9600bps



14400bps



19200bps



38400bps



57600bps



115200bps

2.2.2 チェック方法

オプションのチェック方法は、次のように 3 です。



**チェックなし（なし）



奇数パリティ



偶数パリティ

2.3 USB-HID インターフェース関連の設定

2.3.1 HID装備選択

デバイスが HID デバイスの場合、2 の異なるデバイスにすることができます。ユーザーは以下の設定コードを読み込むことで設定を行うことができます。

**HID-KBW

HID-POS

HID-POS スキャンデータの取得

データ送信								
	Bit							
Byte	7	6	5	4	3	2	1	0
0	メッセージ ID=0xfd							
1	バーコードデータ長							
2	固定値 0xff							
3~62	固定値 0x51							
63	0x01 (背後にデータ パケットがある)/0x0 (背後にデータ パケットがない)							

データ受信								
	Bit							
Byte	7	6	5	4	3	2	1	0
0	メッセージ ID=0x02							
1	バーコードデータ長							
2	固定値 0x5d							
3	固定値 0x51							

4	固定値 0x31
5-60	バーコードデータ
61	固定値 0x51
62	固定値 0x51
63	0x01 (背後にデータ パケットがある)/0x0 (背後にデータ パケットがない)

2.3.2 HID デバイスへの PC アクセス サイクル

以下の設定コードを読み込んで、PC の HID デバイスへのアクセス周期を変更してください。サイクル範囲は: 1ms~64ms



**1ms



3ms



5ms



10ms

2.3.3 HID リリースまでの時間間隔

次の設定コードを読んで、HID プレリリース時間間隔 (つまり、有効なメッセージからリリースメッセージまでの時間間隔)、間隔範囲: 1ms ~ 63ms を変更します。





**1ms



5ms

2ms



10ms

2.3.4 HID リリース後の時間間隔

HID 解放後の時間間隔 (つまり、解放メッセージから次の有効なメッセージまでの時間間隔) を変更するには、次の設定コードを読み取ります。間隔の範囲は 1ms ～ 63ms です。



**1ms



2ms



5ms



10ms

2.3.5 CapsLock ステータス設定



** CapsLock - 通常モード



CapsLock-反転モード



CapsLock - すべて大文字



CapsLock - すべて小文字

2.3.6 HID 先頭キー出力

ユーザーは、次の設定コードを読み取って、各データを出力する前に HID がプリアンブル メッセージを出力するようにして、顧客のソフトウェア開発と位置付けを容易にすることができます。キーの値は Ctrl+Shift+r です。



**HID プリアンブル禁止



HID プリアンブルは許可されています

3 章 読み取りモード

3.1 マニュアルモード

手動モードはデフォルトの読み取りモードです。手動モードでは、トリガーボタンを押すと、読み取りモジュールが撮影と読み取りを開始します。「単一読み取り時間」の制限された時間範囲内で、読み取りが成功すると、読み取りモジュールは通信インターフェースを介して読み取り内容を出力し、読み取りを停止します。新しい読み取りを開始する必要がある場合は、ボタンを再度トリガーする必要があります。 1回のコード読み取り時間を超えると撮影と読み取りを停止します。



**マニュアルモード

3.1.1 トリガー条件

マニュアルモードではトリガ条件を選択できます。デフォルトのトリガ条件はレベルトリガまたはエッジトリガを選択できます。

エッジトリガとは、トリガ信号のレベルパルスを検出すると読み取りを開始し、読み取り成功または単一読み取り期間条件に達すると終了することを意味します。

レベルトリガ条件とは、読み出し開始から読み出し終了まで維持する必要があるトリガ信号のレベルを指します。トリガレベルが解除されるか、読み取りが成功するか、または読み取りが 1 回のコード読み取り時間を超えると、読み取りは終了します。



エッジトリガー



**レベルトリガー

3.1.2 シングルコード読み取り時間

1 回のコード読み取りの継続時間とは、読み取りがトリガーされて読み取りが失敗した後、読み取り試行のために維持できる最大時間を指します。この時間を超えると、読み取り状態が終了します。 1 回のコード読み取り時間の範囲は 100ms から 25500ms です。以下の設定コードを読み取って、1回のコード読み取り時間を設定します。



1000ms



3000ms



**5000ms



10000ms



無限に長い

3.1.3 ディープスリープ

ディープスリープは以下の設定コードで設定できます。ディープスリープが有効になっています。一定時間アイドル状態が続くと、モジュールは自動的にディープスリープに入ります。



ディープスリープ機能対応



**ディープスリープ機能オフ

注 1: ディープ スリープ モードに入った後、ボタンまたはシリアル ポート コマンドを押すことでスリープ モードを起動し、スリープ モードから終了できます。

注 2: ディープ スリープ機能は、マニュアル モードおよび TTL-232 シリアル ポート モード出力でのみ有効です。

3.2 コマンドトリガモード

コマンドトリガーモードでは、読み取りモジュールはホストから送信されたトリガー信号コマンドを受信します（つまり、フラグビット0x0002ビットのビット0が「1」に書き込まれます）。「単一読み取り時間」の制限された時間範囲内で、読み取りが成功すると、読み取りモジュールは通信インターフェースを介して読み取り内容を出力し、読み取りを停止します。新しい読み取りを開始する必要がある場合は、トリガー コマンドを再送信する必要があります。読み取りが 1 回のコード読み取り時間を超える場合、読み取りは停止されます。



コマンドトリガモード

注: コマンドトリガーモードでは、トリガー信号のシリアルポートコマンドは次のとおりです: 7E 00 08 01 00 02 01 AB CDモジュールが読み取りコマンドを受信すると、シリアル ポートは書き込み成功コマンド 02 00 00 01 00 33 31 を返し、読み取りモードがオンになります。

以下の設定コードを読み取って、トリガーコマンドの応答を許可または無効にします。



トリガコマンド応答禁止



**トリガーコマンド応答が許可されています

3.2.1 シングルコード読み取り時間

シングルコード読み取り時間設定については、3.1.2 セクションのシングルコード読み取り時間設定コードを参照してください。

3.3 連続モード

連続モードは、読み取りモジュールが連続サイクルで情報を撮影、読み取り、出力する作業方法です。

このモードでは、デフォルトで、読み取り成功後に 1000ms の読み取り間隔が入力されます。

連続モードでは、トリガー レベル コントロールを使用して連続読み取りを一時停止または継続できます。連続読み取り中は、トリガー レベルを 50ms 以上に維持してからキャンセルする必要があり、読み取りは一時停止されます。読み取り一時停止状態では、トリガー レベルを 50ms 以上に維持してからキャンセルする必要もあり、読み取りは継続されます。



連続モード

3.3.1 読み取り間隔時間

読み取りに成功した後、次の読み取りまでに必要なインターバル時間を指します。この間隔では取得と読み取りは実行されません。読み取り間隔時間を設定するには、以下の設定コードを読み出します。設定範囲は0ms～25500ms、デフォルトの期間は1000msです。



間隔なし



200 ms



500ms



**1000ms



3000ms



5000ms

3.3.2 同一コード読み取り遅延

連続モードで同じバーコードが複数回読み取られるのを防ぐために、このモードで同じバーコードの読み取りを一定時間遅らせるように読み取りモジュールに要求できます。同一コード読み取り遅延とは、バーコードを読み取った後、一定時間以内に同じバーコードの読み取りを拒否することを意味します。

時間が経過した後にのみ、読み取りと出力が可能になります。デフォルトでは、同じコードのコード読み取り遅延はオフになっています。



同じコードのコード読み取り遅延がオンになります



**同じコードの読み取り遅延は終了しました

以下の設定コードを読み出すと、同じコードに対して読み出し遅延時間を設定できます。設定範囲：0ms～12700ms。

注: 遅延の長さを設定する前に、「同一コード読み取り遅延」をオンにする必要があります。



500ms



1000ms



3000ms



5000ms



無限の遅延

3.3.3 シングルコード読み取り時間

シングルコード読み取り時間設定については、3.1.2 セクションのシングルコード読み取り時間設定コードを参照してください。

3.3.4 連続モードキー一時停止スイッチ

「連続モードボタン一時停止サポート」が設定されている場合、初めてボタンを押すと連続モードトリガーを一時停止でき、もう一度ボタンを押すと連続モードトリガーが有効になります。「連続モードボタンの一時停止をサポートしない」が設定されている場合、ボタンは連続モードでは無効になります。

ユーザーは、次の設定コードを通じて連続モード キーの一時停止スイッチを設定できます。



**連続モードキー一時停止のサポート



連続モードのキー一時停止はサポートされていません

3.4 センシングモード

センシングモードとは、読み取りモジュールが周囲環境の明るさの変化を感知して読み取りを開始する動作モードを指します。シーンが変わると、読み取りモジュールが読み取りを開始します。読み取りが情報を正常に出力した後、または 1 つのコード読み取りがタイムアウトになった後、読み取りモジュールは再び監視状態に入るまでに一定の時間間隔 (設定可能) を必要とします。次の状況が発生しない場合、読み取りモジュールは上記のサイクルで動作します。1 回の読み取り時間内にバーコードがスキャンされない場合、読み取りモジュールは自動的に読み取りを一時停止し、監視状態に入ります。誘導読み取りモードでは、読み取りモジュールはトリガーボタンを押した後にコードの読み取りを開始することもできます。コードの読み取りに成功すると、トリガーボタンを放した後、情報を出力したり、周囲の明るさを監視し続けます。



センシングモード

3.4.1 シングルコード読み取り時間

シングルコード読み取り時間設定については、3.1.2 セクションのシングルコード読み取り時間設定コードを参照してください。

3.4.2 読み取り間隔時間

読み取り間隔の設定については、3.3.1 の読み取り間隔設定コードを参照してください。

3.4.3 同一コード読み取り遅延

同一コード認識時のコード読み取り遅延設定については、3.3.2を参照してください。同一コードを認識するコード読み取り遅延設定コードを設定します。

3.4.4 感度

感度とは、センサー読み取りモードでシーンの変化を検出する度合いを指します。シーン変化の程度が要件を満たしていると読み取りモジュールが判断すると、監視状態から読み取り状態に切り替わります(通常感度と高感度が推奨されます)。



感度が低い



**通常の感度



高感度



超高感度

3.4.5 手ぶれ補正持続時間

画像安定時間とは、シーンの変化を検出する読み取りモジュールが、誘導読み取りモードでコードを読み取る前に画像が安定するまで待機する必要がある時間を指します。手ぶれ補正時間の設定範囲は0~25500 ms、ステップサイズは100msです。デフォルトの手ぶれ補正時間は 0ms です。



**0ms



100ms



400ms



1000ms



2000ms

4 章 補助光と位置決め

4.1 フィルライト

読み取りモジュールには一連の LED があり、撮影および読み取り時に補助光を提供し、読み取りターゲットにビームを照射して読み取りパフォーマンスと弱い周囲光への適応性を向上させるために特別に装備されています。実際の使用状況に応じて設定できます。

補助光 - 写真撮影時に点灯：補助光は写真撮影時に点灯し、それ以外の時には消灯します。

フィルライト - 常時点灯: フィルライトは、読み取りモジュールがオンになった後も点灯し続けます。

フィルライト - 常時オフ: フィルライトはいかなる状況でも点灯しません。



**フィルライト - 写真撮影時に点灯します



フィルライト - 常時点灯



フィルライト - 常にオフ

4.2 位置

読み取りモジュールには補助位置決めデバイスがあり、撮影時および読み取り時にインジケーターラインを投影し、読み取りモジュールによってキャプチャされたシーン画像の中心を読み取るようにユーザーに促します。

撮影時にポジショニングライトが点灯：ポジショニングライトは、撮影時に点灯し、それ以外の場合は消灯します。

写真撮影中はポジショニングライトが常に点灯：ポジショニングライトは写真撮影中は常に点灯し、それ以外のときは消灯します。

位置決めライトは常に点灯: 読み取りモジュールがオンになった後も、位置決めライトは点灯し続けます。

ポジショニング ライトは常にオフです。ポジショニング ライトはいかなる状況でも点灯しません。



**ポジショニングライト - 撮影時に点灯します。



ポジショニング ライト - 写真撮影時は常に点灯



ポジショニング ライト - 常時点灯



ポジショニングライト - 常時消灯

5 章プロンプト出力

5.1 ブザーマスタースイッチ

すべての通知音をオン/オフするには、次の設定コードを読み取ります。



ミュート



**ミュートを解除する

5.2 ブザー設定

5.2.1 パッシブブザー

ブザーをパッシブに設定するには、以下の設定コードを読み取って、パッシブブザーの駆動周波数を設定します。



**パッシブブザー



パッシブ_低周波



**パッシブ_IF



パッシブ_高周波

5.2.2 アクティブブザー

次の設定コードを読み取って、ブザーをアクティブに設定し、アクティブなブザーの動作レベルを設定します。「高レベル」を読み取ると、ブザーはアイドル時にアクティブな低レベルに設定され、動作中にアクティブな高レベルに設定されます。「ローレベル」を読み取ると、ブザーはアイドル時にはアクティブハイレベル、動作時にはアクティブローレベルに設定されます。



アクティブブザー



**高レベル



低レベル

5.3 セットアップ コード プロンプト トーン

次のセットアップ コードを読み取って、セットアップ コードのビープ音をオン/オフにします。



**リマインダーサウンドを設定する_enable



sound_off を設定する

5.4 電源投入時のビープ音

読み取りモジュールの電源がオンになり、正常に開始されると、設定要件に従って電源投入時のビープ音を出力またはオフにすることができます。



**ブート音オン



電源投入時のビープ音オフ

5.5 読み取り成功プロンプトLED / ビープ

読み取りが成功すると、読み取りモジュールはデフォルトで 12pin 外部インターフェイスを介して BEEP および DLED プロンプト信号を出力し、外部パッシブ ブザーと LED を介してプロンプトを表示します。ユーザーのニーズに応じて、これらの信号をオフにすることができます。



**読み取り成功プロンプトLEDをオンにする



読み取り成功プロンプト LED をオフにする



**読み取り成功音をオンにする



読み取り成功音をオフにする

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、読み取り成功のプロンプト音の BEEP 持続時間を設定できます。



30ms



**60ms



90ms



120ms

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、成功時の LED 出力の高レベルと低レベルを設定できます。



**正常に読み取られました LED出力がハイレベルです



読み取り成功 LED 出力がローレベルになる

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、成功した LED プロンプトの継続時間を設定できます。



**100ms



500ms

5.6 データ出力エンコード形式

ユーザーは次の設定コードを通じて読み取りモジュールの出力形式を設定できるため、ホストは指定されたエンコード形式に従って中国語データを出力できます。

注: GBK 形式はメモ帳で使用され、UNICODE 形式は Word および一般的なチャット ツールの入力ボックスで使用されます。

元のデータ出力。暗号化データのシリアル ポート出力に使用されます。



**出力データ形式 - GBK



出力データ形式 - UTF8



出力データ形式 - オリジナルデータ



出力データ形式 - UNICODE

5.7 さまざまな国のキーボード設定

さまざまな国に適応するために、次の設定コードを通じてデバイスを各国に対応する「キーボード」に設定できます。



**USキーボード



チェコ語キーボード



フランス語キーボード



ドイツ語キーボード



ハンガリー語キーボード



イタリア語キーボード



日本語キーボード



スペイン語キーボード



トルコ語 Q キーボード



トルコ語 F キーボード



メキシコキーボード (ラテンアメリカ)



ベトナム



ロシア語 UTF8



ロシアWIN1251



ロシアのkoi8-r

5.8 仮想キーボードの有効化

より地域的なアプリケーション環境に適応するために、次の設定コードを読み取ることで標準/仮想キーボード出力設定を設定できます。ただし、出力効率はある程度低下します。仮想キーボードを使用する場合は、PC の小さなキーボードの数字キーが有効になっていることを確認する必要があることに注意してください。



**QWERTYキーボード



仮想キーボード

1.仮想キーボード出力モード

さまざまなアプリケーション シナリオに適応するために、仮想キーボードには、0x20 より小さい制御文字用の 2 のさまざまな出力モードがあります。以下の設定コードをスキャンすることで切り替えることができます。



Ctrlモード



代替モード



**制御文字出力はオフになります

2.制御文字送信

0x00~0x1F 間の ASCII 文字は、制御ファンクション キーにエスケープできます。仮想キーボードが有効な場合（モジュールのその他の HID キーボード関連設定がデフォルト値に設定されている場合）、制御ファンクション キーの入力操作は次のようになります。（ASCII 値と制御ファンクション キーの具体的な対応については、制御文字対応表を参照してください）

(1) 仮想キーボード Ctrl モードが有効になっています

読み出すデータは文字「A<HT>F（HTは不可視文字のため端末ソフト上には表示されません）」（16進値は0x41/0x09/0x46）です。スキャン モジュールの仮想キーボード操作は次のとおりです。

「A」と入力 -- ボタン A を押します。

「Ctrl I」を入力 -- 0x09 のデータは制御ファンクション キー「I」に対応しているため、仮想キーボードは Ctrl キーを押したまま I キーを押し、最後に Ctrl キーと I キーを同時に放します。

「F」を入力して、F キーを押します。

「Ctrl I」は一部のワープロソフトの文字を斜体に変換する機能に相当するため、上記の操作が完了すると通常の文字「A」と斜体の「F」が表示される場合があります。

現在、コード スキャナの小さなモジュールでは、文字出力を制御する仮想キーボード「Ctrl モード」は US キーボード レイアウトのみをサポートしています。

(2) 仮想キーボード Alt モード

仮想キーボードがオンで「Alt モード」に設定されている場合、対応する制御文字出力操作は、ALT + 「ASCII コード 10 ベース値に対応する文字」となります。たとえば、「<HT>」文字の場合、スキャン モジュールの仮想キーボードは次のように動作します。

「Alt 0 9」と入力します - 仮想キーボードは Alt を押したままにし、数字キーボードの「0」と「9」を順番に押して、最後に放します

アルト。

標準キーボードから出力する場合、制御文字出力機能はオフになります。 0x20 より小さい ASCII 文字は、対応するキー値関数を出力します。（対応する機能は制御文字対応表を参照してください）

制御文字対応表

ASCII 関数	ASCII 値 （HEX）	制御文字出力はオフです	制御文字出力 Ctrl モード	CTRL+X 機能
NUL	0	Null	Ctrl+@	
SOH	1	キーパッドEnter	Ctrl+A	すべて選択
STX	2	キャップスロック	Ctrl+B	Bold
ETX	3	ALT	Ctrl+C	Copy
EOT	4	Null	Ctrl+D	ブックマーク
ENQ	5	CTRL	Ctrl+E	Center
ACK	6	Null	Ctrl+F	Find
BEL	7	Enter	Ctrl+G	
BS	8	左矢印	Ctrl+H	歴史
HT	9	水平タブ	Ctrl+I	Italic
LF	0A	下矢印	Ctrl+J	正当化する
VT	0B	垂直タブ	Ctrl+K	ハイパーリンク
FF	0C	Delete	Ctrl+L	リスト、左揃え
CR	0D	Enter	Ctrl+M	
SO	0E	Insert	Ctrl+N	New
SI	0F	Esc	Ctrl+O	Open
DLE	10	F11	Ctrl+P	Print
DC1	11	ホーム	Ctrl+Q	Quit
DC2	12	プリントスクリーン	Ctrl+R	
DC3	13	バックスペース	Ctrl+S	Save
DC4	14	タブ+シフト	Ctrl+T	
NAK	15	F12	Ctrl+U	
SYN	16	F1	Ctrl+V	Paste
ETB	17	F2	Ctrl+W	
CAN	18	F3	Ctrl+X	
EM	19	F4	Ctrl+Y	

ASCII 関数	ASCII 値 （HEX）	制御文字出力はオフです	制御文字出力 Ctrl モード	CTRL+X 機能
SUB	1A	F5	Ctrl+Z	
ESC	1B	F6	Ctrl+[	
FS	1C	F7	Ctrl+\	
GS	1D	F8	Ctrl+]	
RS	1E	F9	Ctrl+6	
US	1F	F10	Ctrl+-	

5.9 出力中国語マスク

この機能をオンにすると、読み取りモジュールは中国語出力をブロックします。ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、中国語出力ブロック機能をオンまたはオフにすることができます。

**出力データは中国語をブロックしません

出力データマスク中国語

5.10 模擬小型キーボード

5.10.1 小型キーボードデジタル機能出力

この機能がオンになっていない場合、すべての出力はラージ キーボードの対応するキー値に従って出力されます。

この機能をオンにすると、読み取りモジュールが取得したデコードデータのうち、数字「0~9」のみが小キーボードに対応するキー値に従って出力され、残りは大キーボードに対応するキー値に従って出力されます。

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、アナログ キーパッドのデジタル出力機能をオンまたはオフにすることができます。

キーパッドデジタル出力オン　　**テンキーデジタル出力オフ

5.10.2 キーパッドオペレーター機能出力

この機能がオンになっていない場合、すべての出力はラージ キーボードの対応するキー値に従って出力されます。

この機能をオンにすると、読み取りモジュールで取得したデコードデータのうち「+」、「_」、「*」、「/」のみが小キーボードに対応するキー値に従って出力され、残りは大キーボードに対応するキー値に従って出力されます。

以下の設定コードを読み込むことで、テンキーオペレータ擬似出力機能のオン/オフを切り替えることができます。

テンキー演算子出力オン　　**テンキーオペレータ出力 - オフ

5.11 画像ミラーリングモード

画像をミラー反転する場合、以下の設定コードを読み込むことでミラー反転モードに入ることができます。

イメージミラーフリップオン　　**イメージミラーフリップ - オフ

注: ミラー反転モードでは、ミラー反転されたバーコードのみが認識されます。通常のバーコードや設定コードを認識する必要がある場合は、ミラー反転モードを終了してから行ってください。

5.12 逆読みモード

一部の特殊なアプリケーション シナリオでは、白と黒の位相が反転した特殊なバーコードを読み取る必要があります。ユーザーは、

/反転バーコードの読み取り機能を無効にします。



**逆転禁止



反転可能

5.13 請求書発行モード

請求書発行システムでのこのモジュールの使用を容易にするために、ユーザーは設定コードを読み取ることによって請求書発行モードを設定し、請求書コード形式の変換と出力を実現できます。

ユーザーは以下の設定コードを読み込むことで、請求書コード形式変換出力を実現できます。



**請求書発行モードが有効になっています



請求書発行モードが無効になっています

5.14 デバイスのバージョン情報を読み取る

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、現在のデバイスのバージョン情報とすべてのデバイスのバージョン情報をすぐに取得できます。



デバイスのバージョン情報を読み取る



すべてのデバイスのバージョン情報を読み取る

例：

⑴。スキャナでデバイスバージョン情報設定コードを読み取る

出力情報: HS:V1.00; F:V1.1.71; 2022.06.09

HS:1.00 は、ハードウェアのバージョンが 1.00 であることを意味します

F:V1.1.71; 2022.06.09 はアプリのバージョンです。 1.1.71、APP バージョンの日付は 2022.06.09 (2) です。スキャナでデバイスバージョン情報設定コードを読み取る

HS:V1.00; QR_BOOT:V1.1.8-21.07.29; QR_APP:V1.1.71-22.06.09 ; LIB:V2.2.95

HS:V1.00;つまり、ハードウェアのバージョンは 1.00 です。

QR_BOOT:V1.1.8-21.07.29;つまり、BOOT バージョンは 1.1.8、BOOT バージョン日付は 2021.07.29QR_APP:V1.1.71-22.06.09 です。つまり、APP バージョンは 1.1.71、APP バージョン日付は 2022.06.09 です。

5.15 書き込み/読み取りデバイス

ユーザーは、シリアル ポートまたは仮想シリアル ポートを介して ID の読み取りと書き込みを行うことができます。

ID 情報には次のものが含まれます。 SN: 製品のシリアル番号

FID: メーカー情報

MID: 製品モデル

ID は最大 64 バイト (純粋な数字と大文字と小文字)

書き込みIDの形式:

書き込みデバイスID:SN:xxxx;MID:xxxx;FID:xxxx。(必要に応じて変更可能) write ID コマンドの戻り値は、 write ID コマンドと同じです。読み取りIDの形式:

ReadDeviceID.

応答：SN:xxxx;MID:xxxx;FID:xxxx。

たとえば、デバイスのデバイス ID 情報を書き込みます: SN:20200508;MID:WSM1605; FID:WSM2020。デバイス ID を読み取り、ID を書き込みます。

シリアル ポートは次を送信します: WriteDeviceID: SN: 20200508;ミッド: WSM1605; FID: WSM2020。シリアル ポートは次を返します: WriteDeviceID: SN: 20200508;ミッド: WSM1605; FID: WSM2020。読み取りID:

シリアルポート送信: ReadDeviceID。

シリアル ポートは次を返します: SN: 20200508;ミッド: WSM1605; FID: WSM2020。

注：「。」があります。 1の後。エンドマークとしての指示。

2。 SN、FID、MIDが書き込まれていない場合は、デバイスのDeviceIDを読み出し、「SN: NULL; MID: NULL; FID: NULL」を返します。

3。ライトコマンドIDデータが要件を満たしていない場合、またはコマンドフォーマットが間違っている場合、ライトコマンドを送信すると「FALSE」が返されるか、返されません。

戻りました、書き込みに失敗しました。

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることによって DeviceID を読み取ることもできます。戻り形式は、送信された読み取りコマンドと一致します。



デバイスIDの読み取り

5.16 チップSNの読み取り

以下の設定コードを読み込むことで、現在のデバイスチップのSN情報をすぐに取得できます。



チップSN番号の読み取り

6 章 データ編集

実際のアプリケーションでは、データの区別や処理を容易にするために、読み取りデータを出力する前に編集する必要がある場合があります。

データ編集には次のものが含まれます。

- プレフィックスを追加する（プレフィックス）
- サフィックスを追加
- デコードされたデータ データセグメントの傍受
- 出力バーコード コードID
- バーコード出力 AIM ID
- 故障特性出力情報（RF情報）をデコード
- ターミネータ（テール）を追加します

処理された出力データ形式:

【コードID】【AIM ID】【プレフィックス】【データ】【サフィックス】【テール】

6.1 プレフィックス

プレフィックスは、データをデコードする前にユーザーが定義した文字列です。ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、プレフィックスを追加および変更できます。

プレフィックスの追加を許可する

**プレフィックスの追加は禁止されています

ユーザーは、以下の設定コードを読み込み、「データコード」設定コードと「保存」設定コードを使用することで、プレフィックス内容を変更することができます。

プレフィックスの変更

注: プレフィックスには、最大 15 文字を使用できます。各プレフィックス文字について、それを表すために 2 つの 16進値が使用されます。文字値 16

基本変換表については付録 F を参照してください。

6.2 サフィックス

サフィックスは、デコードされたデータの後に配置されるユーザー定義の文字列です。ユーザーは、次の設定コードを読み取ることでサフィックスを追加および変更できます。



サフィックスの追加を許可する



**サフィックスの追加は禁止されています

ユーザーは、以下の設定コードを読み出し、「データコード」設定コードと「保存」設定コードを使用することで、サフィックス内容を変更することができます。



サフィックスの変更

注: サフィックスには、最大 15 文字を使用できます。各接尾辞文字について、それを表すために 2 つの 16進値が使用されます。 16 の文字値の基本変換表については、付録 F を参照してください。

6.3 コードID

6.3.1コードIDを追加

コードIDは1文字を使用します。ユーザーは、次の設定コードを読み取ることでコード ID を追加し、さまざまなバーコード タイプを識別できます。



コードIDの追加を許可する



**コードIDの追加は禁止されています

バーコードのデフォルトのコード ID 値を復元するには、次の設定コードを読み取ります。デフォルトのリストは付録 E にあります。



コードIDのデフォルト値を復元する

6.3.2コードIDの変更

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、各バーコードに対応するコード ID を変更できます。



EAN13のコードIDを変更します



EAN8のコードIDを変更します



UPC-Aのコードを変更する



UPC-E0のコードIDを変更します



UPC-E1のコードIDを変更します



コード128のコードIDを変更します



コード39のコードIDを変更します



コード93のコードIDを変更します



CodabarのコードIDを変更する



5 のインターリーブ 2 のコード ID を変更する



工業用 25 のコード ID を変更する



マトリックス 2 のコード ID を 5 に変更します



Code11のコードIDを変更します



MSI PlesseyのコードIDを変更する



RSS-14のコードIDを変更します



限定RSSのコードIDを変更する



拡張RSSのコードIDを変更する



QRコードのコードIDを変更する



データマトリックスのコードIDを変更する



PDF417のコードIDを変更します



マイクロQRのコードIDを変更する



ハンザコードのコードIDを変更する



Micro PDF417のコードIDを変更する



標準 2 のコード ID を 5 に変更する



Plessey のコード ID を変更する



ChinaPost 25 のコード ID を変更します



コード16KのコードIDを変更します



MaxiコードのコードIDを変更する



アステカのコードIDを変更する



GS1 コンポジットのコード ID

6.4 AIM ID

6.4.1AIM IDを追加

AIMはAutomatic Identification Manufactureers（自動識別製造者協会）の略称です。 AIM ID は、さまざまな標準バーコードの識別コードを定義します。具体的な定義は付録 H です。デコード後、スキャナは、AIM プレフィックスであるこの識別コードをバーコード データの前に追加できます。プレフィックス形式: 「]」 + AIM プレフィックス + 番号。たとえば、コード 128 の AIM ID プレフィックスは「]C0」です。



デコード情報により AIM プレフィックス文字が追加される



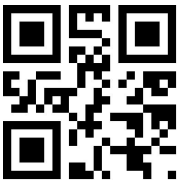
**デコードされた情報には AIM プレフィックス文字は追加されません

6.4.2 AIM の位置を変更する

プレフィックス、コードID、AIM IDを追加した後、以下の設定コードを読み取って順序を変更できます。



**コードID+AIM+カスタム



AIM+コードID+カスタム



AIM+カスタム+コードID



コードID+カスタム+AIM



カスタム+コードID+AIM



カスタム+AIM+コードID

6.5 しっぽ



ターミネーターを閉じる



**CR ターミネータ (0x0D) を追加します。



TAB ターミネータを追加 (0x09)



CRLF ターミネータを追加 (0x0D 0x0A)



**0A 出力は改行です



0A 出力はキャリッジリターンです

6.6 データ　一部

6.6.1 日付　セクションインターセプト

この関数は、ユーザーが部分的にデコードされた情報を出力する必要があるシナリオで使用されます。

デコードされた情報データは、3 の部分で構成されます。

【開始】【中央】【終了】

以下の設定コードを読み込むことで、出力する情報の一部を選択することができます。



**データ全体を転送する



開始セグメントのみが送信されます



終了セグメントのみが送信されます



中央セグメントのみが送信されます

6.6.2 データ　セグメント長の変更

ユーザーは、「データコード」および「保存」設定コードと組み合わせて、次の設定コードを読み取ることで、開始セグメントの長さと終了セグメントの長さを変更できます。開始セグメントと終了セグメントの両方で最大 255 文字を使用でき、両方の長さは 1 つの 16 進文字で表されます。文字対応16進数変換表については付録Fを参照してください。

同時に有効なのは、開始セグメント長、中央セグメント長、終了セグメント長の 2 つの長さだけです。たとえば、開始セグメントの長さと中央セグメントの長さが設定されている場合、終了セグメントの長さを設定することはできません。



開始セグメントの長さの変更



終了セグメントの長さを変更する



中心セグメントの長さを変更する

6.7 RF情報

読み取り失敗 (RF) 情報は、読み取りモジュールが読み取りに失敗したときに出力される情報を指し、ユーザーまたはプログラムはこの情報を検出した後に対応する調整や操作を行うことができます。 RF情報はユーザーが自由に定義できます。

以下の設定コードを読み取ることで、RF情報送信の有効/無効を設定できます。



RF メッセージの送信を許可する



**RF メッセージの送信を無効にする

以下の設定コードを読み込み、「データコード」と「保存」設定コードを組み合わせて、RF情報の内容をカスタマイズ・変更します。各 RF 文字は 2 つの 16進値で表され、最大 15 文字が許可されます。この文字は 16 に対応します。基本変換表については付録 F を参照してください。



RF情報の変更

注: 奇数の 16 ベース値が入力されると、最後のビットの設定に失敗し、最初の数文字のみが出力されます。

6.8 出力プロトコル

以下の設定コードを読み込むことで、仮想COMポート/シリアルポートモード/HID-POSでのデコード結果の出力形式を変更できます。

プロトコル出力によるデコード結果の形式は次のとおりです: <03> <長さ> <デコードされたデータ> 注: プロトコル モードでは、「オリジナル データ」エンコード出力形式を使用する必要があります。その他の出力エンコード形式では、プロトコル付き出力が選択されているかどうかに関わらず、純粋なデータのみが出力されます。



**純粋なデータ出力



プロトコル出力あり

6.9 GS 文字置換

グループ区切り文字としての GS、2012 は、ロンドン オリンピック後に欧州医薬品庁のバーコードで使用されました。 GS 文字は多くのテキスト表示ツールでは表示されないため、一部の領域では GS を表示可能な文字に置き換えて出力する必要があります。つまり、ASCII コード テーブルの 0x1D バイトを ASCII の表示可能なバイトに置き換えます。

現在、QR デコード モジュールは、GS を ASCII の 0x20-0x7E の文字に置き換えることを一時的にサポートしています。

交換方法は以下の通りです。

1) 「GS 文字置換有効」設定コードを読み取ります。

2) 「GS置換文字変更」設定コードを読み込みます。

3) GS で置き換えられた文字は、2 つの 16進値で表されます。 16進変換表に対応する文字については、付録 F を参照してください。

4) 「保存」設定コードを読み出します。



GS文字置換有効



**GS 文字の置き換えは禁止されています

以下の設定コードを読み込み、「データコード」設定コードと「保存」設定コードを使用することで、GS置換文字を変更することができます。



GS置換文字の変更

6.10 ウェブサイトのコード読み取り

URLコード読み取り機能の有効・無効を切り替えるには、以下の設定コードを読み取ってください。



**URL コードの読み取りを許可する



URLコードの読み取りを無効にする

6.11 任意の文字置換

ユーザーは、「データ コード」および「保存」設定コードと組み合わせて、次の設定コードを読み取ることで文字列置換機能を実現できます。これは、最大 15 バイトの置換データまたは 15 バイトの置換をサポートします。



文字置換を有効にする



**文字置換をオフにする



置換された文字を変更する



置換文字を変更する

例: 文字列内の「DE」を「AB」に置き換えます。

1。文字テーブルをクエリして、文字「D」、「E」、「A」、「B」に対応する 16 値を取得します。「44」、「45」、「41」、「42」。

2。「設定コードを有効にする」を読んでください。(有効になっている場合は、この手順をスキップできます)

3。「文字置換を有効にする」設定コードを読みます。(有効になっている場合は、この手順をスキップできます) 4。「置換文字の変更」設定コードを読みます。

5。データコード「4」、「4」、「4」、「5」を順番に読み取ります。

6。「保存」設定コードを読みます。

7。「置換文字変更」設定コードを読みます。

8。データコード「4」、「1」、「4」、「2」を順番に読み取ります。

9。「保存」設定コードを読みます。

鑫龙物联

第 7 章 クイック操作

7.1 高速POSモード

POS モードの機能:

- 読み取りモード：コマンドトリガーモード
- 通信ポート：シリアルポート
- 起動音をオフにする
- ターミネータの追加を無効にする

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、POS モードで動作するように読み取りデバイスを迅速に設定できます。



高速POSモード

7.2 シリアルポートとフルコード有効モード

二次開発プロセス中にシリアルポートとフルコードオープンモードを迅速に設定できるように、次の設定コードを読み込むことでクイック設定機能を実現できます。



シリアルポートとフルコード有効モード

8 コードシステム設定の章

8.1 グローバルショートカット操作

8.1.1 グローバル操作

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、読み取りをグローバルに許可/無効にし、サポートされているすべてのコード システムのデフォルトの読み取りタイプを有効にすることができます。全種類のコードの読み取りを無効にすると、設定コードのみの読み取りが可能になります。

すべてのタイプの読み取りを許可します

すべてのタイプの読み取りを無効にする

**デフォルトの読み取りタイプを開く

8.1.2 製品バーコードチェックデジット出力有効

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、製品バーコードのチェック デジット出力を有効/無効にできます (製品バーコードには次のものが含まれます)。

EAN13/EAN8/UPC-A/UPC-E0/UPC-E1)。

**製品コードのチェックデジットの出力を許可する

製品コードチェックデジット出力を無効にする

8.1.3 読解力強化

以下の設定コードを読み取ることで、バーコード読み取り機能拡張の有効・無効を切り替えることができます。読み取り能力強化を有効にすると、汚れたバーコードやQRコード曲線などの特殊コードの読み取り能力を向上させることができます。読取能力強化の禁止により、解読速度が向上します。



**読取能力向上の禁止



読取能力の向上

8.2 1次元バーコード操作

8.2.1 EAN 13

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、EAN13 バーコード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



**EAN13 の読み取りを許可します



EAN13 読み取り禁止

2。追加コード強制出力機能許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、EAN13追加コードの強制出力機能を有効または無効にすることができます。



EAN13 追加コードの強制出力



**EAN13 は追加コードの出力を必要としません

ユーザーは次の設定コードを読み取って、EAN13 追加コードの有効化と無効化を構成できます。



EAN13-2桁アドオンコード有効



** EAN13-2桁アドオンコード無効



EAN13-5桁アドオンコード有効



** EAN13-5桁アドオンコード無効

3。チェックデジット出力機能の許可・禁止



**EAN13 チェック ディジットの送信を許可する



EAN13 チェック ディジットの送信を無効にする

8.2.2 EAN 8

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、EAN8 バーコード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



**EAN8 の読み取りを許可します



EAN8 読み取り禁止

2。追加コード強制出力機能許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、EAN8追加コードの強制出力機能を有効または無効にすることができます。



EAN8 追加コードの強制出力



**EAN8 は追加コードの出力を必要としません

ユーザーは次の設定コードを読み取って、EAN8 追加コードの有効化と無効化を構成できます。



EAN8-2桁アドオンコード有効



**EAN8-2桁アドオンコードは無効です



EAN8-5桁アドオンコード有効



**EAN8-5桁アドオンコードは無効です

3。チェックデジット出力機能の許可・禁止



**EAN8 チェック ディジットの送信を許可する



EAN8 チェック ディジットの送信を無効にする

8.2.3 UPC-A

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、UPC-A バーコード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



**UPC-A の読み取りを許可します



UPC-A読み取りを無効にする

2。追加コード強制出力機能許可・禁止

以下の設定コードを読み出すことで、UPC-A 付加コード強制出力機能を有効または無効にすることができます。



UPC-A 追加コードの強制出力



**UPC-A は追加コードの出力を必要としません

ユーザーは次の設定コードを読み取って、UPC-A 追加コードを有効または無効にすることができます。



UPC-A-2桁アドオンコード有効



**UPC-A-2桁アドオンコードは無効です



UPC-A-5桁アドオンコード有効



**UPC-A-5桁アドオンコードは無効です

3。 UPC-A 変換 EAN13 有効

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、EAN13 への UPC-A 変換を有効/無効にできます。



UPC-A を EAN13 に許可する



**UPC-A から EAN13 への転送は禁止されています

4。チェックデジット出力機能の許可・禁止



**UPC-A チェック ディジットの送信を許可する



UPC-A チェック ディジットの送信を無効にする

8.2.4 UPC-E0

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、UPC-E0 のバーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



**UPC-E0 の読み取りを許可します



UPC-E0 読み取りを無効にする

2。追加コード強制出力機能許可・禁止

以下の設定コードを読み出すことで、UPC-E0追加コードの強制出力機能を有効または無効にすることができます。



UPC-E0 追加コードの強制出力



**UPC-E0 は追加コードの出力を必要としません

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、UPC-E0 追加コードの有効または無効を設定できます。



UPC-E0-2桁アドオンコード有効



**UPC-E0-2桁アドオンコードは無効です



UPC-E0-5桁アドオンコード有効



**UPC-E0-5桁アドオンコードは無効です

3. チェックデジット出力機能の有効・無効



**UPC-E0 チェック ディジットの送信を許可する



UPC-E0 チェック ディジットの送信を無効にする

8.2.5 UPC-E1

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、UPC-E1 のバーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



**UPC-E1 の読み取りを許可します



UPC-E1 読み取りを無効にする

2。追加コード強制出力機能許可・禁止

以下の設定コードを読み出すことで、UPC-E1追加コードの強制出力機能を有効または無効にすることができます。



UPC-E1 追加コードの強制出力



**UPC-E1 は追加コードの出力を必要としません

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、UPC-E1 追加コードの有効または無効を設定できます。



UPC-E1-2桁アドオンコード有効



** UPC-E1-2桁アドオンコード無効



UPC-E1-5桁アドオンコード有効



**UPC-E1-5桁アドオンコードは無効です

3。チェックデジット出力機能の許可・禁止



**UPC-E1 チェック ディジットの送信を許可する



UPC-E1 チェック ディジットの送信を無効にする

8.2.6 Code128

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code128 バーコード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



**Code128 の読み取りを許可します



Code128の読み取りを無効にする

2。読み取り長さの設定

以下の設定コードを読み取ることで、Code128 の最小読み取り長と最大読み取り長を設定できます。



**Code128 メッセージの最小長は 0 です



Code128 メッセージの最小長は 4 です



Code128 メッセージの最大長は 32 です



**Code128 メッセージの最大長は 255 です

3.Code128 とプレフィックス (11)

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code128 バーコード プレフィックス (11) 機能をオンまたはオフにできます。



Code128 プラスプレフィックス (11) - オープン



**Code128 プラスプレフィックス (11) - クローズド

4.AI()の出力許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、コード128バーコードAI()を出力するかどうかを設定できます。



**Code128 AI 出力 (ブラケット付き)



Code128 AI 出力 (括弧なし)

8.2.7 Code39

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code39 バーコード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



**Code39 の読み取りを許可します



Code39の読み取りを無効にする

2。読み取り長さの設定

以下の設定コードを読み取ることで、Code39 の最小読み取り長と最大読み取り長を設定できます。



**Code39 メッセージの最小長は 0 です



Code39 メッセージの最小長は 4 です



Code39 メッセージの最大長は 32 です



**Code39 メッセージの最大長は 255 です

3.開始文字と終了文字の出力設定

以下の設定コードを読み込むことで、Code39 の開始文字と終了文字の出力を設定できます。



Code39 スタート文字出力



**Code39 開始文字は出力されません



Code39 終了文字出力



**Code39 終了文字は出力されません

4.Code32モード

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code39 が Code32 モードをサポートするかどうかを設定できます。



サポートコード32モード



**Code32 モードはサポートされていません

以下の設定コードを読み込むことで、Code32 プレフィックスを出力するかどうかを設定できます。



**Code32 プレフィックス A 出力



Code32 プレフィックス A は出力されません

5.FullAsc モード

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code39 が FullAsc モードをサポートするかどうかを設定できます。



FullAsc モードをサポート



**FullAsc モードはサポートされていません

6。処理のチェック

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code39 がチェックを処理するかどうかを設定できます。



Code39 処理のチェック



**Code39 はチェックを処理しません

7。チェックデジット出力設定

以下の設定コードを読み込むことで、Code39 がチェックデジットを出力するかどうかを設定できます。



Code39 出力チェックデジット



**Code39 はチェック ディジットを出力しません

8.2.8 Code93

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code93 バーコード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



**Code93 の読み取りを許可します



Code93の読み取りを無効にする

2。読み取り長さの設定

以下の設定コードを読み取ることで、Code93 の最小読み取り長と最大読み取り長を設定できます。



**Code93 メッセージの最小長は 0 です



Code93 メッセージの最小長は 4 です



Code93 メッセージの最大長は 32 です



**Code93 メッセージの最大長は 255 です

8.2.9 コーダバー

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、CodaBar バーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



**CodaBar の読み取りを許可します



CodaBar の読み取りを無効にする

2。読み取り長さの設定

以下の設定コードを読み込むことで、CodaBar の最小読み取り長と最大読み取り長を設定できます。



**CodaBar メッセージの最小長は 0 です。



CodaBar 情報の最小長は 4 です。





CodaBar 情報の最大長は 32 です。

**CodaBar メッセージの最大長は 255 です。

3.開始文字と終了文字の出力設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、CodaBar の開始文字と終了文字の出力を設定できます。



CodaBar の開始文字と終了文字の出力



**CodaBar の開始文字と終了文字は出力されません

4.チェック処理

ユーザーは以下の設定コードを読み込むことでCodaBarチェック処理を設定することができます。



**CodaBar はチェックを処理しません



CodaBar Mod10 のチェック



CodaBar Mod16 のチェック



CodaBar の二重チェック

5。チェックデジット出力設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、CodaBar チェック デジット出力を設定できます。





CodaBarチェックデジット出力 **CodaBar チェックデジットは出力されません

8.2.10 Interleaved 2 of 5

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、Interleaved 2 または 5 バーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



5 のインターリーブ 2 の読み取りを許可します



**インターリーブされた 2 または 5 の読み取りは禁止されています

2。読み取り長さの設定

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、5 の Interleaved 2 の最小および最大読み取り長を設定できます。



5 のインターリーブ 2 メッセージの最小長は 0 です



**インターリーブされた 2 の 5 メッセージの最小長は 4 です



**インターリーブされた 2 の 5 メッセージの最大長は 32 です



5 のインターリーブ 2 メッセージの最大長は 255 です

3.チェックフォーマット設定

以下の設定コードを読み込むことで、5のInterleaved 2のチェックを処理するかどうかを設定できます。



5 のインターリーブ 2 チェックフォーマット Mod10



**インターリーブ 2 の 5 チェックフォーマット なし

4。チェックデジット出力設定

以下の設定コードを読み出すことで、5のInterleaved 2のチェックデジットを出力するかどうかを設定できます。



5 のインターリーブ 2 出力チェックデジット



**インターリーブされた 2 または 5 はチェック ディジットを出力しません

8.2.11 産業用 25

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、産業用 25 バーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



工業用 25 の読み取りを許可する



**工業用 25 の読み取りは禁止されています

2。読み取り長さの設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、産業用 25 の最小および最大読み取り長を設定できます。



工業用 25 最も短いメッセージ長は 0 です



**Industrial 25 メッセージの最小長は 4 です



**Industrial 25 メッセージの最大長は 32 です



産業用 25 メッセージの最大長は 255 です

3.チェックフォーマット設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Industrial 25 がチェックを処理するかどうかを設定できます。



工業用 25 チェックフォーマット Mod10



**工業用 25 チェック形式 なし

4。チェックデジット出力設定

工業用25は、以下の設定コードを読み出すことでチェックデジットを出力するかどうかを設定できます。



工業用 25 出力チェックデジット



**Industrial 25 はチェック ディジットを出力しません

8.2.12 マトリックス 2/5

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、マトリックス 2 または 5 バーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



マトリックス 2 の 5 の読み取りを許可します



**5のマトリックス2の読み取りは禁止されています

2。読み取り長さの設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、5 のマトリックス 2 の最小および最大読み取り長を設定できます。



5 の行列 2 最短の情報長は 0



**行列 2 の 5 メッセージの最小長は 4 です



**行列 2 の 5 メッセージの最大長は 32 です



5 の行列 2 メッセージの最大長は 255 です

3.チェックフォーマット設定

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、5チェックフォーマットのマトリックス2を設定できます。



Matrix2 of 5 チェック形式は Mod 10



**5 チェック形式の行列 2 はなしです

4。チェックデジット出力設定

以下の設定コードを読み出すことで、Matrix2 または 5 のチェックデジットを出力するかどうかを設定できます。



マトリックス2/5出力チェックデジット



**Matrix2 の 5 はチェック ディジットを出力しません

8.2.13 Code11

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code11 バーコード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



Code11 の読み取りを許可する



**Code11 の読み取りは禁止されています

2。読み取り長さの設定

以下の設定コードを読み取ることで、Code11 の最小読み取り長と最大読み取り長を設定できます。



Code11 メッセージの最小長は 0 です



**Code11 メッセージの最小長は 4 です



**Code11 メッセージの最大長は 32 です



Code11 メッセージの最大長は 255 です

3.チェックモード設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code11 のチェック方法を設定できます。



**Code11-1bit チェック



Code11-2ビットチェック

4。チェックデジット出力設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、Code11 チェックデジット出力を設定できます。



Code11 チェックデジット出力



**Code11チェックデジットは出力されません

8.2.14 MSI プレッシー

1。読み取り機能の許可・禁止



MSI Plessey に読み取りを許可する



**MSI Plessey は読み取りを禁止されています

2。読み取り長さの設定

以下の設定コードを読み取ることで、MSI Plessey の最小読み取り長と最大読み取り長を設定できます。



MSI Plessey メッセージの最小長は 0 です。



**MSI Plessey メッセージの最小長は 4 です



**MSI Plessey メッセージの最大長は 32 です



MSI Plessey メッセージの最大長は 255 です。

3.チェックモード設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、MSI Plessey のチェック方法を設定できます。



**MSI Plessey 単体 MOD10 チェック



MSI Plessey デュアル MOD10 のチェック

4。チェックデジット出力設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、MSI Plessey チェック デジット出力を設定できます。



MSI Plessey チェック ディジット出力



**MSI Plessey チェックデジットは出力されません

8.2.15 RSS-14

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、RSS-14 バーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



RSS-14 の読み取りを許可する



**RSS-14 の読み取りを無効にする

2.AI()の出力許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、RSS-14 バーコード AI()を出力するかどうかを設定できます。



**RSS-14 AI 出力（括弧付き）



RSS-14 AI 括弧なしの出力

3。チェックデジット出力機能の許可・禁止



RSS-14 チェックデジット出力



**RSS-14 チェックデジットは出力されません

8.2.16 限定 RSS

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、制限付き RSS バーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



制限付き RSS の読み取りを許可する



**制限付き RSS は読まないでください

2.AI()の出力許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、制限付きRSSバーコードAI()を出力するかどうかを設定できます。



**括弧付きのRSS Limited AI 出力



括弧なしの修飾された RSS AI 出力

3。チェックデジット出力機能の許可・禁止



修飾された RSS チェック デジット出力



**限定的なRSSチェックデジットは出力されません

8.2.17拡張 RSS

1。読み取り機能の許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、拡張RSSバーコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



拡張 RSS の読み取りを許可する



**拡張 RSS の読み取りを無効にする

2。読み取り長さの設定



拡張 RSS 情報の最小長は 0 です



**拡張 RSS 情報の最小長は 4 です。



**拡張 RSS 情報の最大長は 32 です。



拡張RSS情報の最大長は255です

3.AI()の出力許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、拡張RSSバーコードAI()を出力するかどうかを設定できます。



**拡張 RSS AI ブラケット出力



括弧なしの拡張 RSS AI 出力

4。チェックデジット出力機能の許可・禁止



拡張RSSチェックデジット出力



**拡張RSSチェックディジットは出力されません

8.2.18 標準 2 の 5

1。読み取り機能の許可・禁止



標準 2 の 5 の読み取りを許可します



**標準 2 の 5 の読み取りは禁止されています

2。読み取り長さの設定

以下の設定コードを読み取ることで、標準 2 または 5 の最小読み取り長と最大読み取り長を設定できます。



標準 2 または 5 メッセージの最小長は 0 です



**標準 2 の 5 メッセージの最小長は 4 です



**標準 2 の 5 メッセージの最大長は 32 です



標準 2 または 5 メッセージの最大長は 255 です

3.チェックモード設定

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、標準 2 または 5 チェック方法を設定できます。



標準 2 の 5 チェックがオンになっています



**標準 2 の 5 チェックは終了しました

4。チェックデジット出力設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、MSI Plessey チェック デジット出力を設定できます。



標準 2 の 5 チェックデジット出力



**標準 2 の 5 チェックデジットは出力されません

8.2.19 プレシー

1。読み取り機能の許可・禁止



プレッシーに読書を許可する



**Plessey の読書は禁止されています

2。読み取り長さの設定

以下の設定コードを読み取ることで、Plessey の最小読み取り長と最大読み取り長を設定できます。



Plessey メッセージの最小長は 0 です。



**Plessey メッセージの最小長は 4 です。



**Plessey メッセージの最大長は 32 です。



Plessey メッセージの最大長は 255 です。

3.チェックモード設定

ユーザーは、以下の設定コードを読み込むことで、Plesseyのチェック方法を設定できます。



Plessey チェックがオンになりました



**Plessey チェックがオフになっています

4。チェックデジット出力設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、MSI Plessey チェック デジット出力を設定できます。



Plesseyチェックデジット出力



**Plessey チェックデジットは出力されません

8.2.20 中国郵便 25

1。読み取り機能の許可・禁止



ChinaPost 25 の読み取りを許可する



**ChinaPost 25 の読み取りは禁止されています

2。読み取り長さの設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、ChinaPost 25 の最小および最大読み取り長を設定できます。



ChinaPost 25 メッセージの最小長は 0 です



**ChinaPost 25 メッセージの最小長は 4 です



**ChinaPost 25 最大メッセージ長は 32 です



ChinaPost 25 メッセージの最大長は 255 です

3.チェックモード設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、ChinaPost 25 チェック方法を設定できます。



ChinaPost 25 チェックが有効になりました



**ChinaPost 25 のチェックは終了しました

4。チェックデジット出力設定

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、MSI ChinaPost 25 のチェック デジット出力を設定できます。



ChinaPost 25 チェックデジット出力



**ChinaPost 25 チェックデジットは出力されません

8.3 2次元バーコード操作

8.3.1 QRコード

1.QR コード読み取り許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、QR コード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



**QR 読み取りを許可する



QR読み取りを無効にする

2.QR モード 1 読み取りのオンとオフ

ユーザーは、次の設定コードを読み取ることで、QR モード 1 読み取りサポートをオンまたはオフにできます。



QRモード 1-on



**QR モード 1-オフ

3.QR とプレフィックス (11) がオンまたはオフになります

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、QR プレフィックス (11) 機能をオンまたはオフにできます。



QR プラス プレフィックス (11) - オープン



**QR プラス プレフィックス (11) - 閉じる

4.AI()の出力許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、拡張QRコードAI()を出力するかどうかを設定できます。



**QR AI 出力 (括弧付き)



括弧なしの QR AI 出力

8.3.2 データ マトリックス **（DM）**

1。読取の許可と禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、データマトリックス読み取り機能を有効または無効にすることができます。



**DMの読み取りを許可します



DMの読取を禁止する

2。複数のDMコード読み取り許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、複数のDMコードの同時読み取りを有効または無効にすることができます。



複数のDM機能の同時読み取りが可能



**複数のDM機能を同時に読取することは禁止されています

3.AI()の出力許可・禁止

拡張DMコードAI()を出力するかどうかは、以下の設定コードを読み込むことで設定できます。



**DM AI 出力（括弧付き）



括弧なしの DM AI 出力

8.3.3 PDF417

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、PDF417 読み取り機能を有効または無効にすることができます。



**PDF417 の読み取りを許可します



PDF417 の読み取りを無効にする

8.3.4 マイクロ QR

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、Micro QR 読み取り機能を許可または無効にすることができます。



**マイクロ QR 読み取りを許可する



マイクロ QR 読み取りを無効にする

8.3.5 中国語の常識的なコード

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、ハンザコード読み取り機能を有効または無効にすることができます。



ハンザコードの読み取りを許可する



**ハンセコードの読み取りは禁止されています

8.3.6 マイクロ PDF 417

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、Micro PDF 417 読み取り機能を有効または無効にすることができます。



**Micro PDF 417 の読み取りを許可します



Micro PDF 417 の読み取りを無効にする

8.3.7 コード 16K

1。読み取り機能の許可・禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、コード 16K 読み取り機能を有効または無効にすることができます。



コード 16K の読み取りを許可します



**コード 16K の読み取りは禁止されています

2。読み取り長さの設定



コード 16K メッセージの最小長は 0 です



**コード 16K メッセージの最小長は 4 です



**コード 16K メッセージの最大長は 32 です



コード 16K メッセージの最大長は 255 です

8.3.8 最大コード

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、マキシコード読み取り機能を許可または無効にすることができます。



Maxi コードの読み取りを許可する



**マキシコードの読み取りを無効にする

8.3.9 Aztec

1。読取の許可と禁止

ユーザーは、以下の設定コードを読み取ることで、Aztec 読み取り機能を有効または無効にすることができます。



アステカに読み取りを許可する



**アステカの読み取りは禁止されています

2.AI()の出力許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、拡張アステカコードAI()を出力するかどうかを設定できます。



**Aztec AI ブラケット出力



括弧なしの Aztec AI 出力

8.3.10 GS1 コンポジット

1。読取の許可と禁止

ユーザーは以下の設定コードを読み出すことで、GS1 コンポジット読み取り機能を有効または無効にすることができます。



GS1 コンポジットの読み取りを許可する



**GS1 コンポジットの読み取りは禁止されています

2.AI()の出力許可・禁止

以下の設定コードを読み込むことで、拡張GS1コンポジットコードAI()を出力するかどうかを設定できます。



**GS1 ブラケット付きの複合 AI 出力



GS1 括弧なしの複合 AI 出力

9 章 保存とキャンセル

9.1 保存

「データコード」を読み取った後、データを保存するには「保存」設定コードを読み込む必要があります。



保存

9.2 キャンセル

データの読み取りにエラーが発生した場合、以下の設定コードを読み取ることで、現在の設定をキャンセルしたり、最後に読み取った 1 ビットのデータをキャンセルしたり、以前に読み取ったデータ列をキャンセルしたりすることができます。



読み取ったデータの最後のビットをキャンセルします



以前に読み取ったデータ文字列をキャンセルします



現在の設定をキャンセルする

注: 現在の設定をキャンセルすると、以前に読み取られたすべてのデータコードがキャンセルされます。解約後は再度設定を行う必要があります。

10 章 バッチ処理の設定

読み取り装置に複数の設定が必要な場合、一つ一つ設定するのは面倒な場合があります。ユーザーは設定が必要な情報をすべてQRコードとして保存でき、デバイスはQRコードを読み取ることで複数の設定を完了できます。

バッチ処理を設定するためのガイドラインは次のとおりです。

1. バッチ処理設定コード内容形式：@WSM+[パラメータ 1];[パラメータ 2];....[パラメータ n];

   一括設定できる設定コード内容パラメータについては、付録G「一括設定コード内容パラメーター覧」を参照してください。

2. 2 つのパラメータはそれぞれ英語のセミコロン「;」で区切られています。そして英語のセミコロンで終わります。セミコロンとコマンドの間にスペースを入れることはできないことに注意してください。

グリッド。

3. バッチ処理設定では、30 までのパラメータを同時に設定できます。

4. コーディングソフト上で一括設定コード形式に従った設定内容をQRコードに作成し、この設定コードを読み取って一括処理します。

設定。

例: 設定コードをオンにします (パラメータ:00000000)、センシングモード(パラメータ:02000003)、写真撮影時に補助光が点灯します (パラメータ:03000000)、単一コード読み取り時間-3000ms(パラメータ:0202001E)、インターリーブの読み取りを禁止します2の5コード設定コード（パラメータ：070A0100）の場合、一括設定コードの内容は次のようになります。

@WSM00000000;02000003;03000000;0202001E;070A0100;

一括設定が必要な場合は、完成した一括設定コードを読み込んで設定を完了してください。

注意:

1. 一括設定を行う場合は「設定コードがON」であることを確認してください。

2. 括設定コードの内容が設定コードの規則に準拠していない場合、または設定パラメータが設定可能パラメータリストに含まれていない場合、設定は失敗します。

付録

付録 A：データコード

0 ～ 9



0



1



2



3



4



5



6



7



8



9

A ～ F



A



B



C



D



E



F

鑫龙物联

付録 B：パラメータ設定例

◆ 例 1: プレフィックスを DATA に変更します

1文字テーブルをクエリして、「DATA」の 4 文字に対応する文字を取得します。16進値: "44”、“41”、“54”、“41”2.「設定コードを有効にする」を読んでください。（有効になっている場合は、この手順をスキップできます)3.「プレフィックス変更」設定コードを読み込む4.データコードを順番に読み取ってください」4”“4”“4”“1”“5”“4”“4”“1”5.「保存」設定コードを読み込む

◆ 例 2: サフィックスを DATA に変更します

1文字テーブルをクエリして、「DATA」の 4 文字に対応する文字を取得します。16進値: "44”、“41”、“54”、“41”2.「設定コードを有効にする」を読んでください。（有効になっている場合は、この手順をスキップできます)3.「サフィックス変更」設定コードを読み込む4.データコードを順番に読み取ってください」4”“4”“4”“1”“5”“4”“4”“1”5.「保存」設定コードを読み込む

◆ 例 3: EAN13 のコード ID を「A」に変更します

1。文字テーブルをクエリして、「A」文字に対応する 16進値を取得します:「41」

2。「設定コードを有効にする」を読んでください。（有効になっている場合は、この手順をスキップできます）

3。「EAN13のCODE IDを変更」設定コードを読み取ります。

4。データコード「4」「1」を順番に読み出します。

5。「保存」設定コードを読み込む

◆ 例 4:

[送信開始セグメントのみ] デコード情報が「1234567890ABC」の場合、先頭の10バイト「1234567890」を出力

1。文字テーブルをクエリして、文字「10」に対応する 16 を取得します。 基本値:「0A」 2。 「設定コードを有効にする」を読んでください。(有効になっている場合は、この手順をスキップできます) 3。 「開始セグメント長の変更」設定コード 4 を読み取ってください。データコード「0」「A」5を読み取ります。 「保存」設定コード6を読み出します。 「開始セグメントのみ送信」設定コードを読み取る

◆ 例 5:

[Endセグメントのみ送信] デコードした情報が「1234567890ABC」の場合、次の10バイト「4567890ABC」を出力

1。文字テーブルをクエリして、文字「10」に対応する 16 を取得します。 基本値:「0A」 2。 「設定コードを有効にする」を読んでください。(有効になっている場合は、この手順をスキップできます) 3。 「終了セグメントの長さの変更」設定コード 4 を読み取ります。データコード「0」「A」5を読み取ります。 「保存」設定コード6を読み出します。 「送信終了セグメントのみ」設定コードを読み出す

◆ 例 6.1:

[センターセグメントのみ送信] デコード情報が「1234567890ABC1234567890」の場合、中央の3バイト「ABC」を出力

1.文字テーブルをクエリして取得します。10「に対応する文字」16進値: "0A”2.「設定コードを有効にする」を読んでください。(有効になっている場合は、この手順をスキップできます)3.「終了セグメント長変更」設定コードを読み込む4.データコードを順番に読み取ってください」0「「あ」5.「保存」設定コードを読み込む6.「開始セグメント長変更」設定コードを読み込む

7。データコード「0」「A」を順番に読み出します。

8。 「保存」設定コードを読み込む

9。 「センターセグメントのみ送信」設定コードを読み取ってください。

◆ 例 6.2:

[センターセグメントのみ送信] デコード情報が「1234567890ABC1234567890」の場合、中央の3バイト「ABC」を出力

1。文字テーブルをクエリして、文字「10」の 16 進値「0A」 2 に対応する 16 を取得します。 「設定コードを有効にする」を読んでください。 (有効になっている場合は、この手順をスキップできます) 3。 「開始セグメント長変更」設定コード4を読み取ってください。データコード「0」「A」5を読み取ります。 「保存」設定コード 6 を読み出します。 「中央セグメント長変更」設定コード7を読み取ってください。データコード「0」「3」「8」を順に読み出します。 「保存」設定コード9を読み出します。 「センターセグメントのみ送信」の設定コードを読み取ってください。

◆ 例 7: RF 情報を「FAIL」に変更します

1文字テーブルをクエリして、「FAIL」文字に対応する文字を取得します。16進値: "46”“41”“49”“4C」2.「設定コードを有効にする」を読んでください。 (有効になっている場合は、この手順をスキップできます)3「RF情報変更」設定コードを読み込む4.データコードを順番に読み取ってください」4”“6”“4”“1”“4”“9”“4「「C」5.「保存」設定コードを読み込む

◆ 例 8: GS 置換文字を「D」に変更します。

1。文字テーブルをクエリして、「D」文字に対応する 16進値を取得します:「44」

2。 「設定コードを有効にする」を読んでください。 (有効になっている場合は、この手順をスキップできます)

3。 「GS文字置換有効」設定コード4を読み込みます（有効になっている場合はこの手順は省略できます）。 「GS置換文字変更」設定コード5を読み込んでください。データコード「4」「4」 6を読み取ります。 「保存」設定コードを読み込む

鑫龙物联

付録 C: デフォルト設定テーブル

パラメータ名		デフォルト設定	述べる
セットアップコード			
セットコード機能		オンにする	
通信設定			
通信モード		USB-HID	
TTL-232	シリアルポートのボーレート	9600bps	
	シリアルポートのチェックデジット	チェックデジットなし	
	シリアルデータビット	8 ビット	
	シリアルポートストップビット	1 ビット	
	ハードウェアフロー制御	なし	
USB-HID	USB-HID デバイスの選択	USB-KBW	
	HID デバイスへの PC アクセス サイクル	1ms	範囲: 1～64ms
	リリース前の HID 間隔	1ms	範囲: 1～63ms
	リリース後のHID間隔	1ms	範囲: 1～63ms
	CapsLock ステータス	Off	
	HID 先頭キー出力	無効にする	
スキャンコードモードパラメータ			
デフォルトの読み取りモード:		マニュアルモード	
マニュアルモード	トリガーモード	トリガーされたレベル	
	単一コードの読み取り時間	5000ms	範囲：100ms～25500ms、 ステップサイズ 100ms、 0 は無限長を意味します
	深い眠り	閉鎖	睡眠時間:0-3276700ms ステップサイズ: 100ms
コマンドトリガモード	トリガー条件	コマンドトリガー	7E 00 08 01 00 02 01 AB CD
	トリガーコマンド応答	許可する	

パラメータ名		デフォルト設定	述べる
	単一コードの読み取り時間	5000ms	範囲：100ms～25500ms ステップサイズ 100ms 0x00: 無限に長い
連続モード	読み取り間隔	1000ms	範囲: 0～25500ms ステップサイズ 100ms
	同じコードの読み取りの遅延	遅延なし	ディレイ持続時間範囲：100ms～25500ms ステップサイズ 100ms 0x00: 無限遅延
	単一コードの読み取り時間	5000ms	範囲：100ms～25500ms ステップサイズ 100ms 0x00: 無限に長い
	連続モードキー一時停止スイッチ	サポート	
センシングモード	単一コードの読み取り時間	5000ms	範囲: 100～25500ms ステップサイズ 100ms 0x00: 無限に長い
	読み取り間隔時間	1000ms	範囲: 0～25500ms ステップサイズ 100ms
	同じコードの読み取りの遅延	遅延なし	ディレイ持続時間範囲：100ms～25500ms ステップサイズ 100ms 0x00: 無限遅延
	感度	通常の感度	感度パラメータ 1/2: 00-FF パラメータが高いほど感度は低くなります
	手ぶれ補正時間	0ms	範囲: 0～25500ms ステップサイズ 100ms
一般設定			
フィルライト/ポジショニング	ポジショニングライト	写真撮影時に点灯します	
	フィルライト	写真撮影時に点灯します	

パラメータ名		デフォルト設定	述べる
ブザー	ブザー設定	パッシブブザー	
	パッシブブザー	もし	
	アクティブブザー	ハイレベル	動作中に高レベルがアクティブになり、アイドル時に低レベルがアクティブになります。
	ミュート	閉鎖	
電源投入時のビープ音		オンにする	
読み取り成功音		オンにする	
読み取り成功のプロンプト音の長さ		60ms	範囲 0-255ms
読み取り成功の LED プロンプト		オンにする	
コード読み取り音を設定する		オンにする	
出力データ形式		GBK	
キーボード		アメリカ合衆国	
仮想/標準キーボード		標準	
制御文字出力		閉鎖	仮想キーボードはデフォルトではオフになっていますが、 開始後、デフォルトの制御文字によってモードが終了します。
画像ミラーフリップ		禁止する	
シリアルポートシミュレーションHIDプロトコル		無効にする	
請求書発行モード		有効化/ローカル請求モード	
データ編集			
接頭語		追加しないでください	
サフィックス		追加しないでください	
CODE ID		追加しないでください	
AIM ID		追加しないでください	
ターミネーター		CR（0x0D）	
データセグメントの傍受		データセグメント全体を転送する	
RF情報		送信しないでください	
出力プロトコル		純粋なデータ出力	
GS文字置換		禁止する	

パラメータ名	デフォルト設定	述べる
ウェブサイトのコード読み取り	許可する	
コード設定		
逆相	禁止する	
画像ミラーフリップ	禁止する	
製品コードチェック出力	有効にする	EAN13/EAN8/UPC-A/UPC-E0/UPC-E1
読取能力の向上	禁止する	
EAN-13		
読む	許可する	
追加コードの強制出力	不要	
2桁アドオンコード	禁止する	
5桁アドオンコード	禁止する	
チェックデジット出力	出力	
EAN-8		
読む	許可する	
追加コードの強制出力	不要	
2桁アドオンコード	禁止する	
5桁アドオンコード	禁止する	
チェックデジット出力	出力	
UPC-A		
読む	許可する	
追加コードの強制出力	不要	
2桁アドオンコード	禁止する	
5桁アドオンコード	禁止する	
UPC-A ～ EAN13	禁止する	
チェックデジット出力	出力	
UPC-E0		
読む	許可する	

パラメータ名	デフォルト設定	述べる
追加コードの強制出力	不要	
2桁アドオンコード	禁止する	
5桁アドオンコード	禁止する	
チェックデジット出力	出力	
UPC-E1		
読む	許可する	
追加コードの強制出力	不要	
2桁アドオンコード	禁止する	
5桁アドオンコード	禁止する	
チェックデジット出力	出力	
Code128		
読む	許可する	
最小メッセージ長	0	
最大メッセージ長	255	
プレフィックス追加(11)機能	閉鎖	
AIには括弧はありますか?	ブラケット付き	
Code 39		
読む	許可する	
最小メッセージ長	0	
最大メッセージ長	255	
スターター	出力なし	
ターミネーター	出力なし	
Code32	無効にする	
Code32 プレフィックス出力	出力	前提条件: Code32 が有効になっている
FullAsc モード	無効にする	
ハンドルのチェック	未処理	
チェックデジット出力	出力なし	

パラメータ名	デフォルト設定	述べる
Code 93		
読む	許可する	
最小メッセージ長	0	
最大メッセージ長	255	
コーダバー		
読む	許可する	
最小メッセージ長	0	
最大メッセージ長	255	
開始文字と終了文字	出力なし	
Interleaved 2 of 5		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	
チェック形式	なし	
チェックデジット出力	出力なし	
工業用 25		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	
チェック形式	なし	
チェックデジット出力	出力なし	
マトリックス 2/5		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	
チェック形式	なし	
チェックデジット出力	出力なし	

パラメータ名	デフォルト設定	述べる
Code11		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	
チェック方法	1bit	
チェックデジット出力	出力なし	
MSI プレッシー		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	
チェック方法	シングル Mod10	
チェックデジット出力	出力なし	
RSS-14		
読む	禁止する	
AIには括弧はありますか?	ブラケット付き	
限定 RSS		
読む	禁止する	
AIには括弧はありますか?	ブラケット付き	
拡張RSS		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	
AIには括弧はありますか?	ブラケット付き	
標準 2 の 5		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	

パラメータ名	デフォルト設定	述べる
チェック	閉鎖	
チェックデジット出力	出力なし	
プレッシー		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	
チェック	閉鎖	
チェックデジット出力	出力なし	
中国郵便 25		
読む	禁止する	
最小メッセージ長	4	
最大メッセージ長	32	
チェック	閉鎖	
チェックデジット出力	出力なし	
QRコード		
読む	許可する	
モード 1 読み取り	閉鎖	
プレフィックスを追加 (11)	閉鎖	
AIには括弧はありますか?	ブラケット付き	
PDF417		
読む	許可する	
データマトリックス		
読む	許可する	
AIには括弧はありますか?	ブラケット付き	
複数のDMバーコードを同時に読み取ります	禁止する	
マイクロQR		
読む	許可する	

パラメータ名	デフォルト設定	述べる
ハンスコード		
読む	禁止する	
マイクロ PDF417		
読む	許可する	
コード16K		
読む	禁止する	
マキシコード		
読む	禁止する	
Aztec		
読む	禁止する	
AIには括弧はありますか?	ブラケット付き	
GS1 コンポジット		
読む	禁止する	
AIには括弧はありますか?	ブラケット付き	

付録 D: 一般的なシリアルポートコマンド

関数	シリアルコマンド	リターンコマンド
マニュアルモードに切り替える （撮影時はポジショニングライトとフィルライトが両方点灯します）	7E 00 08 01 00 00 D4 FF 60	02 00 00 01 00 33 31
コマンドトリガーモードの切り替え （撮影時はポジショニングライトとフィルライトが両方点灯します）	7E 00 08 01 00 00 D5 EF 41	02 00 00 01 00 33 31
連続モードに切り替える （撮影時はポジショニングライトとフィルライトが両方点灯します）	7E 00 08 01 00 00 D6 DF 22	02 00 00 01 00 33 31
スイッチセンシングモード （撮影時はポジショニングライトとフィルライトが両方点灯します）	7E 00 08 01 00 00 D7 CF 03	02 00 00 01 00 33 31
コマンド トリガモード トリガコマンド	7E 00 08 01 00 02 01 02 DA	02 00 00 01 00 33 31
トリガーコマンド応答許可	7E 00 08 01 00 01 04 07 2C	02 00 00 01 00 33 31
トリガコマンド応答禁止	7E 00 08 01 00 01 84 96 A4	02 00 00 01 00 33 31
読み取り間隔の設定 5s	7E 00 08 01 00 05 32 9D 7D	02 00 00 01 00 33 31
シングルコード読み取り時間を設定 10s	7E 00 08 01 00 06 64 F2 1D	02 00 00 01 00 33 31
ボーレートの設定 (115200bps)	7E 00 08 02 00 2A 1A 00 E4 7E	02 00 00 01 00 33 31
設定を内蔵フラッシュに保存	7E 00 09 01 00 00 00 DE C8	02 00 00 01 00 33 31
ボーレートのクエリ (115200bps)	7E 00 07 01 00 2A 02 D8 0F	02 00 00 02 1A 00 82 D8
工場出荷時設定にリセット	7E 00 09 01 00 00 FF C0 38	02 00 00 01 00 33 31
ターミネータの設定 (CRLF)	7E 00 08 01 00 60 21 4B F0	02 00 00 01 00 33 31
現在の設定はユーザーの工場出荷時の設定として保存されます	7E 00 08 01 00 D9 56 E1 15	02 00 00 01 00 33 31
ユーザー定義の工場出荷時設定を復元する	7E 00 08 01 00 D9 55 D1 76	02 00 00 01 00 33 31

付録 E: コードIDリスト

バーコードの種類	対応文字	フラグアドレス
EAN-13	d	0x91
EAN-8	d	0x92
UPC-A	c	0x93
UPC-E0	c	0x94
UPC-E1	c	0x95
Code 128	j	0x96
Code 39	b	0x97
Code 93	i	0x98
コーダバー	a	0x99
Interleaved 2 of 5	e	0x9A
産業用 2 の 5	D	0x9B
マトリックス 2/5	v	0x9C
Code 11	H	0x9D
MSI プレッシー	m	0x9E
GS1 データバー(RSS-14)	R	0x9F
GS1 データバー(RSS限定)	R	0xA0
GS1 データバー(RSS 拡張)	R	0xA1
QRコード	Q	0xA2
データマトリックス	u	0xA3
PDF 417	r	0xA4
マイクロQR	X	0xA5

バーコードの種類	対応文字	フラグアドレス
ハンスコード	h	0xA6
マイクロ PDF417	R	0xA7
標準 2 の 5	f	0xA8
プレッシー	n	0xA9
中国郵便 25	X	0xAA
コード16K	X	0xAB
マキシコード	x	0xAD
Aztec	z	0xAE
GS1 コンポジット	R	0xAF

鑫龙物联

付録 F: ASCII コンピューター

16進数	10進数	キャラクター
00	0	NUL （ヌル文字）
01	1	SOH （ヘッダーの開始）
02	2	STX （本文の始まり）
03	3	ETX （本文終わり）
04	4	EOT （送信終了）
05	5	ENQ （問い合わせ）
06	6	ACK （了承）
07	7	BEL （ベル）
08	8	BS （バックスペース）
09	9	HT （水平タブ）
0a	10	LF （改行）
0b	11	VT （垂直タブ）
0c	12	FF （フォームフィード）
0d	13	CR （キャリッジリターン）
0e	14	SO （シフトアウト）
0f	15	SI （シフトイン）
10	16	DLE （データリンクエスケープ）
11	17	DC1 (XON) (デバイス制御 1)
12	18	DC2 (デバイス制御 2)
13	19	DC3 (XOFF) (デバイス制御 3)
14	20	DC4 (デバイス制御 4)
15	21	NAK （否定的な承認）
16	22	SYN （同期アイドル）
17	23	ETB （送信ブロックの終了）
18	24	CAN （キャンセル）

16進数	10進数	キャラクター
19	25	EM （媒体終了）
1a	26	SUB （代わりの）
1b	27	ESC （逃げる）
1c	28	FS （ファイル区切り文字）
1d	29	GS （グループ区切り文字）
1e	30	RS （送付依頼）
1f	31	US （単位区切り）
20	32	SP （空間）
21	33	! （感嘆符）
22	34	" （二重引用符）
23	35	# （ナンバー記号）
24	36	$ （ドル記号）
25	37	% （パーセント）
26	38	& （アンパサンド）
27	39	、（単一引用符）
28	40	(（右/右括弧）
29	41	) （右/右括弧）
2a	42	* （アスタリスク）
2b	43	+ （プラス）
2c	44	, （コンマ）
2d	45	- （マイナス/ダッシュ）
2e	46	. （ドット）
2f	47	/ （フォワードスラッシュ）
30	48	0
31	49	1
32	50	2

16進数	10進数	キャラクター
33	51	3
34	52	4
35	53	5
36	54	6
37	55	7
38	56	8
39	57	9
3a	58	: （結腸）
3b	59	; （セミコロン）
3c	60	< （未満）
3d	61	= （等号）
3e	62	> （より大きい）
3f	63	? （疑問符）
40	64	@ （ATシンボル）
41	65	A
42	66	B
43	67	C
44	68	D
45	69	E
46	70	F
47	71	G
48	72	H
49	73	I
4a	74	J
4b	75	K
4c	76	L

16進数	10進数	キャラクター
4d	77	M
4e	78	N
4f	79	O
50	80	P
51	81	Q
52	82	R
53	83	S
54	84	T
55	85	U
56	86	V
57	87	W
58	88	X
59	89	Y
5a	90	Z
5b	91	[（左/開きブラケット）
5c	92	\ （バックスラッシュ）
5d	93	] （右/閉じ括弧）
5e	94	^ （欠如/サーカムフレックス）
5f	95	_ （アンダースコア）
60	96	' （グレイブアクセント）
61	97	a
62	98	b
63	99	c
64	100	d
65	101	e
66	102	f

16進数	10進数	キャラクター
67	103	g
68	104	h
69	105	i
6a	106	j
6b	107	k
6c	108	l
6d	109	m
6e	110	n
6f	111	o
70	112	p
71	113	q
72	114	r
73	115	s
74	116	t
75	117	u
76	118	v
77	119	w
78	120	x
79	121	y
7a	122	z
7b	123	{ （左/左中括弧）
7c	124	| （縦棒）
7d	125	} （右/右中括弧）
7e	126	~ （チルダ）
7f	127	DEL （消去）

鑫龙物联

付録 G：一括設定コードパラメーター一覧

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します 述べる	
セットアップコードを有効にする	00000000	設定コードがオフになっている場合は、まず設定コードを有効にする必要があります。
TTL-232 シリアルポートモード	01000000	
USB-HIDモード	01000001	
USB-232 仮想シリアル ポート モード	01000002	
HID&TTL同時出力モード	01000003	
HID-KBW	01010000	
HID-POS	01010001	
1200bps	010209C4	
4800bps	01020271	
9600bps	01020139	
14400bps	010200D0	
19200bps	0102009C	
38400bps	0102004E	
57600bps	01020034	
115200bps	0102001A	
チェックなし (NONE)	01030000	
奇数パリティ (ODD)	01030001	
偶数パリティ (EVEN)	01030002	
HID デバイス -1ms への PC アクセス サイクル	01040001	他の期間も変更できます。パラメータの下 2 桁は変更できます。 期間パラメータの最後の 2 桁は変更できます。
HID デバイス -3ms への PC アクセス サイクル	01040003	
HID デバイス -5ms への PC アクセス サイクル	01040005	
HID デバイス -10ms への PC アクセス サイクル	0104000A	
HID リリース前の時間間隔 -1ms	01050001	他の期間では、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
HID リリース前の時間間隔 -2ms	01050002	
HID リリース前の時間間隔 -5ms	01050005	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
HID リリース前の時間間隔 -10ms	0105000A	
HID リリース後の時間間隔 -1ms	01060001	他の期間では、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
HID リリース後の時間間隔 -2ms	01060002	
HID リリース後の時間間隔 -5ms	01060005	
HID リリース後の時間間隔 -10ms	0106000A	
CapsLock - 通常モード	01070000	
CapsLock-反転モード	01070001	
CapsLock - すべて大文字	01070002	
CapsLock - すべて小文字	01070003	
HID プリアンブル禁止	01080000	
HID プリアンブルは許可されています	01080001	
マニュアルモード	02000000	
トリガーされたレベル	02010000	
エッジトリガー	02010001	
シングルコード読み取り時間 -1000ms	0202000A	他の期間では、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
シングルコード読み取り時間 -3000ms	0202001E	
シングルコード読み取り時間 -5000ms	02020032	
シングルコード読み取り時間 -10000ms	02020064	
単一コードの読み取り時間 - 無制限	02020000	
コマンドトリガモード	02000001	
連続モード	02000002	
トリガーコマンド応答許可	020A0001	
トリガコマンド応答禁止	020A0000	
連続モードのキー一時停止はサポートされていません	020A0010	
連続モードキー一時停止のサポート	020A0011	
読み取り間隔 - 間隔なし	02050000	他の期間では、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
読み取り間隔 -500ms	02050005	
読み取り間隔 -1000ms	0205000A	
読み取り間隔 -3000ms	0205001E	
読み取り間隔 -5000ms	02050032	
同一コード読み取り遅延はクローズされます	02060000	期間パラメータ設定では、最初に同じ読み取りを有効にする必要があります
同一コード読み取り遅延が有効です	02060001	コード遅延
同じコード読み取り遅延長 - 無制限の遅延	02070000	
同一コード読み取り遅延時間 -500ms	02070005	
同一コード読み取り遅延時間 -1000ms	0207000A	他の期間では、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
同一コード読み取り遅延時間 -3000ms	0207001E	
同一コード読み取り遅延時間 -5000ms	02070032	
センシングモード	02000003	
通常の感度	0209640A	
感度が低い	020932A0	
高感度	0209320A	
超高感度	02093205	
手ぶれ補正持続時間 -0ms	02080000	
手ぶれ補正持続時間 -100ms	02080001	
手ぶれ補正持続時間 -400ms	02080004	他の期間では、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
手ぶれ補正持続時間 -1000ms	0208000A	
手ぶれ補正持続時間 -2000ms	02080014	
写真撮影時にフィルライトが点灯します	03000000	
フィルライト - 常時点灯	03000001	
フィルライト - 常にオフ	03000002	
ポジションライト - 撮影時に点灯	03010000	
ポジショニング ライト - 写真撮影時は常に点灯	03010003	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
ポジショニング ライト - 常時点灯	03010001	
ポジショニングライト - 常時消灯	03010002	
ディープスリープ機能有効	02030000	
ディープスリープ機能がオフになっている	02030001	
ミュートオン	04000000	
ミュート - オフ	04000001	
パッシブブザーの設定	04010005	
パッシブ低周波	04010000	
パッシブIF	04010001	
パッシブ - 高周波	04010002	
アクティブブザー設定	04010006	
アクティブな動作レベル - 高レベル	04010003	
アクティブな動作レベル - 低レベル	04010004	
リマインダーサウンドを有効に設定する	04020000	
リマインダー音をオフに設定する	04020001	
電源投入時のビープ音	04030000	
電源投入時のビープ音オフ	04030001	
読み取り成功 - LED プロンプトが点灯	04040000	
読み取り成功の LED プロンプト - 閉じる	04040001	
読み取り成功音 - オンにします	04040002	
読み取り成功音を閉じました	04040003	
読み取り成功 LED 出力ハイレベル	04040006	
読み取り成功 LED 出力ローレベル	04040007	
読み取り成功 LED プロンプト期間 -100ms	0404020A	他の期間では、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
読み取り成功 LED プロンプト期間 -500ms	04040232	
読み取り成功プロンプトトーン持続時間 -30ms	0404011E	他の期間では、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
読み取り成功プロンプトトーン持続時間 -60ms	0404013C	
読み取り成功プロンプトトーン持続時間 -90ms	0404015A	
読み取り成功プロンプトトーン持続時間 -120ms	04040178	
出力データ形式 - GBK	04050000	
出力データ形式 - UTF8	04050001	
出力データ形式 - オリジナルデータ	04050002	
出力データ形式 - UNICODE	04050003	
出力データマスク中国語	04050100	
出力データは中国語をブロックしません	04050101	
USキーボード	04060000	
チェコ語キーボード	04060001	
フランス語キーボード	04060002	
ドイツ語キーボード	04060003	
ハンガリー語キーボード	04060004	
イタリア語キーボード	04060005	
日本語キーボード	04060006	
スペイン語キーボード	04060007	
トルコ語 Q キーボード	04060008	
トルコ語 F キーボード	04060009	
メキシコキーボード (ラテンアメリカ)	0406000A	
ベトナム	0406000B	
ロシア語 UTF8	0406000F	
ロシア語 Windows1512	04060010	
ロシアのkoi8-r	04060011	
クワーティー文字	04070000	
仮想キーボード	04070001	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
仮想キーボード_Ctrlモード	04070010	
仮想キーボード_Altモード	04070011	
制御文字出力はオフです	04070012	
イメージミラーフリップオン	04080000	
イメージミラーフリップオフ	04080001	
逆禁止	04090000	
反転可能	04090001	
請求書発行モードが有効になっています	040B0000	
請求書発行モードが無効になっています	040B0001	
キーパッドのデジタル出力がオンになっています	040C0000	
キーパッドの数値出力がオフになっています	040C0001	
テンキーのオペレータ出力が有効になっています	040C0002	
テンキーのオペレータ出力がオフになりました	040C0003	
プレフィックスの追加を許可する	05000000	
プレフィックスの追加は禁止されています	05000001	
プレフィックスの変更	05000002	
サフィックスの追加を許可する	05010000	
サフィックスの追加は禁止されています	05010001	
サフィックスの変更	05010002	
コードIDの追加を許可する	05020000	
CODE IDの追加は禁止されています	05020001	
CODE ID のデフォルト値を復元する	05020002	
EAN13のコードIDを変更します	05030000	
EAN8のコードIDを変更します	05030001	
UPC-Aのコードを変更する	05030002	
UPCE0 のコード ID を変更します	05030003	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
UPCE1 のコード ID を変更します	05030004	
CODE128のコードIDを変更します	05030005	
CODE39のコードIDを変更します	05030006	
CODE93のコードIDを変更します	05030007	
CodaBarのCODE IDを変更する	05030008	
5のInterleaved 2のCODE IDを変更します	05030009	
工業用 25 の CODE ID を変更する	0503000A	
マトリックス 2 の CODE ID を 5 に変更します	0503000B	
CODE11のコードIDを変更します	0503000C	
MSI Plessey の CODE ID を変更する	0503000D	
RSSコードIDの変更	0503000E	
限定RSSのCODE IDを変更する	05030010	
拡張RSSのCODE IDを変更する	05030011	
QRコードのコードIDを変更する	05030012	
DataMatrixのCODE IDを変更する	05030013	
制限されたフォーミュラPDF417のコードIDを変更します	05030014	
Micro QRのCODE IDを変更する	05030015	
ハンザコードのコードIDを変更する	05030016	
Micro PDF417のCODE IDを変更します	05030017	
標準 2 の 5 コード ID を変更する	05030018	
Plessey の CODE ID を変更する	05030019	
ChinaPost 25 のコード ID を変更します	0503001A	
コード16Kのコードを変更します	0503001B	
Maxi CodeのCODE IDを変更する	0503001D	
Aztec の CODE ID を変更する	0503001E	
GS1 コンポジットの CODE ID を変更する	0503001F	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
ターミネーターを閉じる	05040000	
ターミネータ CR を追加する	05040001	
ターミネータTABを追加	05040002	
ターミネータ CRLF を追加	05040003	
0A 出力は改行です	050A0010	
0A 出力はキャリッジリターンです	050A0020	
データ全体を転送する	05050000	
開始セグメントのみが送信されます	05050001	
終了セグメントのみが送信されます	05050002	
転送センターのみ	05050003	
開始セグメントの長さの変更	05050004	
終了セグメントの長さを変更する	05050005	
中心セグメントの長さを変更する	05050006	
RF メッセージの送信を許可する	05060000	
RF メッセージの送信を無効にする	05060001	
RF情報の変更	05060002	
純粋なデータ出力	05070000	
プロトコル出力あり	05070001	
GS文字置換を有効化	050A0000	
GS文字置換を無効化	050A0001	
GS置換情報の変更	050A0002	
URLコードの読み取りを許可する	050B0000	
URLコードの読み取りを無効にする	050B0001	
無効 (デコードされた情報は AIM プレフィックスを追加しません)	050C0001	
有効 (デコードされた情報に AIM プレフィックス文字を追加)	050C0000	
文字置換を有効にする	050C0010	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
文字置換をオフにする	050C0020	
置換された文字を変更する	050C0030	
置換文字を変更する	050C0040	
コードID+AIM+カスタム	050D0000	
AIM+コードID+カスタム	050D0001	
AIM+カスタム+コードID	050D0002	
コードID+カスタム+AIM	050D0003	
カスタム+コードID+AIM	050D0004	
カスタム+AIM+コードID	050D0005	
高速POSモード	06000000	
シリアルポートとフルコード有効モード	06000001	
すべてのタイプの読み取りを許可します	07000000	
すべてのタイプの読み取りを無効にする	07000001	
読取能力の向上を許可する	07000007	
読取能力向上は禁止されている	07000008	
デフォルトの読み取りタイプを開く	07000002	
製品コードのチェックデジットの送信を許可する	05090000	
製品コードのチェックデジットの送信は禁止されています	05090001	
EAN13 の読み取りを許可する	07010000	
EAN13を読み取れません	07010100	
EAN13 追加コードの強制出力	07011000	
EAN13 は追加コードの出力を必要としません	07011100	
EAN13-2桁アドオンコード有効	07012000	
EAN13-2桁アドオンコードは無効です	07012100	
EAN13-5桁アドオンコード有効	07013000	
EAN13-5桁アドオンコードは無効です	07013100	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
EAN13 チェック ディジットの送信を許可する	07014000	
EAN13 チェック ディジットの送信を無効にする	07014100	
EAN8 の読み取りを許可する	07020000	
EAN8を読み取れません	07020100	
EAN8 追加コードの強制出力	07021000	
EAN8 は追加コードの出力を必要としません	07021100	
EAN8-2桁アドオンコード有効	07022000	
EAN8-2桁アドオンコードは無効です	07022100	
EAN8-5桁アドオンコード有効	07023000	
EAN8-5桁アドオンコードは無効です	07023100	
EAN8 チェック ディジットの送信を許可する	07024000	
EAN8 チェック ディジットの送信を無効にする	07024100	
UPC-A の読み取りを許可する	07030000	
UPC-Aの読み取りを無効にする	07030100	
UPC-A 追加コードの強制出力	07031000	
UPC-A は追加コードの出力を必要としません	07031100	
UPC-A-2桁アドオンコード有効	07032000	
UPC-A-2桁アドオンコードは無効です	07032100	
UPC-A-5桁アドオンコード有効	07033000	
UPC-A-5桁アドオンコードは無効です	07033100	
UPC-A を EAN13 に許可する	05080000	
UPC-A を EAN13 に転送することは禁止されています	05080001	
UPC-A チェック ディジットの送信を許可する	07034000	
UPC-A チェック ディジットの送信を無効にする	07034100	
UPC-E0 の読み取りを許可する	07040000	
UPC-E0 を読み取れません	07040100	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
UPC-E0 追加コードの強制出力	07041000	
UPC-E0 は追加コードの出力を必要としません	07041100	
UPC-E0-2桁アドオンコード有効	07042000	
UPC-E0-2桁アドオンコードは無効です	07042100	
UPC-E0-5桁アドオンコード有効	07043000	
UPC-E0-5桁アドオンコードは無効です	07043100	
UPC-E0 チェック ディジットの送信を許可する	07044000	
UPC-E0 チェック ディジットの送信を無効にする	07044100	
UPC-E1 の読み取りを許可する	07050000	
UPC-E1 を読み取れません	07050100	
UPC-E1 追加コードの強制出力	07051000	
UPC-E1 は追加コードの出力を必要としません	07051100	
UPC-E1-2桁アドオンコード有効	07052000	
UPC-E1-2桁アドオンコードは無効です	07052100	
UPC-E1-5桁アドオンコード有効	07053000	
UPC-E1-5桁アドオンコードは無効です	07053100	
UPC-E1 チェック ディジットの送信を許可する	07054000	
UPC-E1 チェック ディジットの送信を無効にする	07054100	
Code128の読み取りを許可する	07060000	
Code128の読み取りを無効にする	07060100	
Code128 メッセージの最小長は 0 です	07061000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
Code128 メッセージの最小長は 4 です	07061004	
Code128 メッセージの最大長は 32 です	07061120	
Code128 メッセージの最大長は 255 です	070611FF	
コード128とプレフィックス(11) - オープン	07062000	
コード128 とプレフィックス (11) - 閉じる	07062100	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
Code128 出力（括弧付き）	07063000	
Code128 出力（括弧なし）	07063100	
Code39の読み取りを許可する	07070000	
Code39の読み取りを無効にする	07070100	
Code39 メッセージの最小長は 0 です	07071000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
Code39 メッセージの最小長は 4 です	07071004	
Code39 メッセージの最大長は 32 です	07071120	
Code39 メッセージの最大長は 255 です	070711FF	
Code39 スタート文字出力	07072000	
Code39 開始文字が出力されない	07072100	
Code39 終了文字出力	07073000	
Code39 終了文字は出力されません	07073100	
Code32の読み取りを許可する	07074000	
Code32の読み取りを無効にする	07074100	
Code32 プレフィックス A 出力	07076000	
Code32 プレフィックス A は出力されません	07076100	
フルASCIIのサポート	07075000	
FullASCII はサポートされていません	07075100	
Code39 処理チェックキャラクタ	07077000	
Code39 はチェック文字を処理しません	07077100	
Code39 出力チェックキャラクタ	07078000	
Code39はチェックキャラクタを出力しません	07078100	
Code93の読み取りを許可する	07080000	
Code93の読み取りを無効にする	07080100	
Code93 メッセージの最小長は 0 です	07081000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
Code93 メッセージの最小長は 4 です	07081004	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
Code93 メッセージの最大長は 32 です	07081120	
Code93 メッセージの最大長は 255 です	070811FF	
CodaBar の読み取りを許可する	07090000	
CodaBar の読み取りを無効にする	07090100	
CodaBar 情報の最小長は 0 です。	07091000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
CodaBar 情報の最小長は 4 です。	07091004	
CodaBar 情報の最大長は 32 です。	07091120	
CodaBar 情報の最大長は 255 です。	070911FF	
CodaBar の開始文字と終了文字の送信が可能	07092000	
CodaBar の開始文字と終了文字の送信は禁止されています	07092100	
CodeBar はチェックを処理しません	07093000	
CodeBar のみ MOD10 チェック	07093100	
CodeBar のみ MOD16 チェック	07093200	
コードバーのダブルチェック	07093300	
CodeBar 出力チェックサム	07094000	
CodeBar がチェックサムを出力しない	07094100	
5 のインターリーブ 2 の読み取りを許可する	070A0000	
2 と 5 のインターリーブは禁止されています	070A0100	
5 のインターリーブ 2 メッセージの最小長は 0 です	070A1000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
5 のインターリーブ 2 メッセージの最小長は 4 です	070A1004	
5 のインターリーブ 2 メッセージの最大長は 32 です	070A1120	
Interleaved2of5 メッセージの最大長は 255 です	070A11FF	
5 のインターリーブ 2 チェック形式は Mod10	070A2000	
5 チェック形式のインターリーブ 2 はなしです	070A2100	
5 出力チェック キャラクタのインターリーブ 2	070A3000	
5 のインターリーブ 2 はチェック キャラクタを出力しません	070A3100	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
工業用 25 の読み取りを許可する	070B0000	
工業用 25 の読み取りを無効にする	070B0100	
工業用 25 最も短いメッセージ長は 0 です	070B1000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
工業用 25 最も短いメッセージ長は 4 です	070B1004	
産業用 25 メッセージの最大長は 32 です	070B1120	
産業用 25 メッセージの最大長は 255 です	070B11FF	
工業用 25 チェック形式は Mod10	070B2000	
工業用 25 チェック形式はなしです	070B2100	
工業用 25 出力チェックキャラクタ	070B3000	
工業用 25 はチェック文字を出力しません	070B3100	
マトリックス 2 の 5 の読み取りを許可します	070C0000	
5 のマトリックス 2 の読み取りは禁止されています	070C0100	
5 の行列 2 最短の情報長は 0	070C1000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
5 の行列 2 最短の情報長は 4	070C1004	
5 の行列 2 メッセージの最大長は 32 です	070C1120	
5 の行列 2 メッセージの最大長は 255 です	070C11FF	
マトリックス 2 の 5 チェック形式は Mod10	070C2000	
5 の行列 2 チェック形式はなしです	070C2100	
5 の行列 2 出力チェックキャラクタ	070C3000	
5 のマトリックス 2 はチェック文字を出力しません	070C3100	
Code11の読み取りを許可する	070D0000	
Code11の読み取りを無効にする	070D0100	
Code11 メッセージの最小長は 0 です	070D1000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
Code11 メッセージの最小長は 4 です	070D1004	
Code11 メッセージの最大長は 32 です	070D1120	
Code11 メッセージの最大長は 255 です	070D11FF	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
Code11-1ビットチェック	070D2000	
Code11-2ビットチェック	070D2100	
Code11 出力チェックキャラクタ	070D3000	
Code11はチェックキャラクタを出力しません	070D3100	
MSI Plessey の読み取りを許可する	070E0000	
MSI Plessey の読み取りを無効にする	070E0100	
MSI Plessey メッセージの最小長は 0 です。	070E1000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
MSI Plessey メッセージの最小長は 4 です。	070E1004	
MSI Plessey メッセージの最大長は 32 です。	070E1120	
MSI Plessey メッセージの最大長は 255 です。	070E11FF	
MSI Plessey チェック形式は単一の Mod10 です	070E2000	
MSI Plessey チェック形式はダブル Mod10	070E2100	
MSI Plessey 出力チェックサム	070E3000	
MSI Plessey がチェックサムを出力しない	070E3100	
RSS-14 の読み取りを許可する	070F0000	
RSS-14 の読み取りを無効にする	070F0100	
RSS-14 チェックデジット出力	070F4000	
RSS-14チェックデジットが出力されない	070F4100	
RSS-14 AI 括弧なしの出力	070F5000	
RSS-14 AI 括弧付き出力	070F5100	
制限付き RSS の読み取りを許可する	070F1000	
制限付きRSSの読み取りを無効にする	070F1100	
修飾された RSS チェック デジット出力	070F6000	
修飾されたRSSチェックデジットが出力されない	070F6100	
括弧なしの修飾された RSS AI 出力	070F7000	
括弧付きの修飾された RSS AI 出力	070F7100	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
拡張RSSの読み込みが可能	070F2000	
拡張RSSの読み取りを無効にする	070F2100	
拡張RSSチェックデジット出力	070F8000	
拡張RSSチェックデジットが出力されない	070F8100	
括弧なしの拡張 RSS AI 出力	070F9000	
拡張 RSS AI ブラケット出力	070F9100	
RSS 情報の最小長は 0 です。	070F3000	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
RSS 情報の最小長は 4 です。	070F3004	
RSS情報の最大長は32です。	070F3120	
RSS情報の最大長は255です。	070F31FF	
5 の標準 2 の読み取りを許可します	07200000	
5の規格2の読み取りは禁止です	07200100	
標準 2 または 5 メッセージの最小長は 0 です	07201100	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
標準 2 または 5 メッセージの最小長は 4 です	07201104	
標準 2 または 5 メッセージの最大長は 32 です	07201120	
標準 2 または 5 メッセージの最大長は 255 です	072011FF	
標準 2 の 5 チェックオン	07202000	
標準 2 の 5 チェック - 閉じる	07202100	
標準 2 の 5 出力チェックキャラクタ	07203000	
5の標準2はチェックキャラクタを出力しません	07203100	
Plessey の読み取りを許可する	07210000	
プレッシーの読書を禁止する	07210100	
Plessey メッセージの最小長は 0 です。	07211100	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
Plessey メッセージの最小長は 4 です。	07211104	
Plessey メッセージの最大長は 32 です。	07211120	
Plessey メッセージの最大長は 255 です。	072111FF	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
Plessey チェック対応	07212000	
プレッシーチェックオフ	07212100	
Plessey 出力チェックサム	07213000	
Plessey はチェック文字を出力しません	07213100	
ChinaPost 25 の読み取りを許可する	07220000	
ChinaPost 25 の読取を禁止します	07220100	
ChinaPost 25 メッセージの最小長は 0 です	07221100	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
ChinaPost 25 メッセージの最小長は 4 です	07221104	
ChinaPost 25 メッセージの最大長は 32 です	07221120	
ChinaPost 25 メッセージの最大長は 255 です	072211FF	
ChinaPost 25 チェックオン	07222000	
ChinaPost 25 チェック - 閉じる	07222100	
ChinaPost 25 出力チェック文字	07223000	
ChinaPost 25 はチェック文字を出力しません	07223100	
Code16Kの読み取りを許可する	07230000	
Code16Kの読み取りを無効にする	07230100	
Code16K メッセージの最小長は 0 です	07231100	他の長さの場合は、パラメータの最後の 2 桁を変更できます。
Code16K メッセージの最小長は 4 です	07231104	
コード16K メッセージの最大長は 32 です	07231120	
コード16K メッセージの最大長は 255 です	072311FF	
QRの読み取りを許可する	07140000	
QR読み取り禁止	07140100	
QRモード 1-on	07141000	
QRモード 1-オフ	07141100	
QR プラス プレフィックス (11) オン	07142000	
QR プラス プレフィックス (11) - クローズ済み	07142100	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
**括弧付きの QR 出力	07143000	
括弧なしの QR 出力	07143100	
DMの読取を許可する	07150000	
DMの読取禁止	07150100	
複数のDMを同時に読むことができます	07151000	
複数のDMバーコードを同時に読み取ることは禁止されています	07151100	
**ブラケット付きのDM出力	07152000	
括弧なしの DM 出力	07152100	
PDF417 の読み取りを許可する	07160000	
PDF417 の読み取りを無効にする	07160100	
ハンザコードの読み取りを許可する	07170000	
ハンスコードの読み取りは禁止されています	07170100	
Micro PDF417 の読み取りを許可する	07180000	
マイクロ PDF417 の読み取りを無効にする	07180100	
マイクロ QR の読み取りを許可する	07190000	
マイクロQRの読み取りを無効にする	07190100	
マキシコードの読み取りを許可する	071A0000	
Maxi コードの読み取りを無効にする	071A0100	
アステカの読み取りを許可する	071B0000	
アステカの読み取りを無効にする	071B0100	
**括弧付きのアステカ出力	071B1000	
括弧なしのアステカ出力	071B1100	
GS1 コンポジットの読み取りを許可する	071C0000	
GS1 コンポジットの読み取りを無効にする	071C0100	
**GS1括弧付きの複合出力	071C1000	
GS1括弧なしのコンポジット出力	071C1100	

セットコード機能	コードパラメータの内容を設定します　述べる	
保存	08000000	
データの前のビットをキャンセルします	08000001	
以前に読み取ったデータ文字列をキャンセルします	08000002	
変更した設定をキャンセルする	08000003	
0	08010000	
1	08010001	
2	08010002	
3	08010003	
4	08010004	
5	08010005	
6	08010006	
7	08010007	
8	08010008	
9	08010009	
A	0801000A	
B	0801000B	
C	0801000C	
D	0801000D	
E	0801000E	
F	0801000F	

鑫龙物联

付録 H：AIM IDリスト

バーコードの種類	AIMID	可能な AIM ID 修飾子 (m)
Code128	]C	0、1
EAN8	]E4	
EAN8 アドオンあり	]E3	
EAN13	]E0	
EAN13 アドオンあり	]E3	
UPCA	]E0	
UPCA アドオンあり	]E3	
UPCE	]E0	
UPCE アドオンあり	]E3	
Code39	]A	0、1、3、4、5、7
Code93	]G0	
コーダバー	]F	0、2、4
Code11	]H	0、1、3
RSS	]e0	
限定 RSS	]e0	
拡張RSS	]e0	
Industrial2of5	]S0	
Interleaved2of5	]I	0、1、3
Matrix2of5	]X0	
MSI プレッシー	]M	0、1
QRコード	]Q	0、1、2、3
PDF417	]L0	
データマトリックス	]d	0、1、2、4、5
中国郵便 25	]X0	
Code16K	]K0	

バーコードの種類	AIMID	可能な AIM ID 修飾子 (m)
プレッシー	]P0	
Standard2of5	]R0	
Aztec	]z	0、1
中国語に通じるコード	]X0	
マキシコード	]U	0、1
マイクロQR	]Q1	
MicroPDF417	]L0	

鑫龙物联